SONY®

パーソナルコンピューター

VGN-FW_1 シリーズ
取扱説明書

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書(本書)をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

取扱説明書(本書)

バイオを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

画面で見るマニュアル

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書(本書)に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。

VAIO ナビ

目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

重要なお知らせ

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
インターネット／メール
セキュリティ
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

パーソナルコンピューター

VGN-FW_1 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home Premium搭載モデルにのみインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー[すべてのプログラム] – [VAIO 電子マニュアル]をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[VAIO 電子マニュアル]をクリック!

ソフトウェアを使ってみよう

インターネット/メール

セキュリティ

増設/バックアップ/リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：
PCG-3D2N、PCG-3D4N

電波法に基づく認証について（ワイヤレスLAN機能／Bluetooth機能搭載モデル）

本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル
受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。
（[サービスとサポート] – [お問い合わせ／アフターサービス] – [使用済みコンピュータの回収について] をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。
あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止

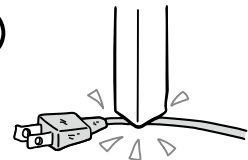
行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「増設する」（73ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク（LAN）ケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

本機のLANコネクタに次のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない（5 GHzワイヤレスLAN搭載モデル）

5 GHzワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

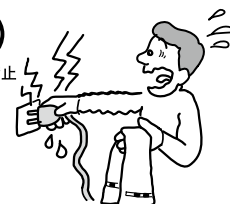
キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

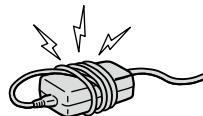
ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ(接続端子)の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。
- 性能が低下したバッテリを使わない。
  バッテリ駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリと交換してください。

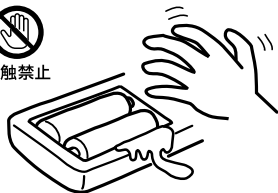
バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

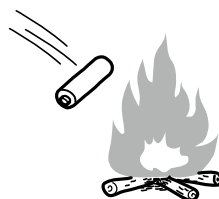
素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

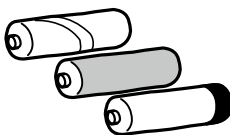
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

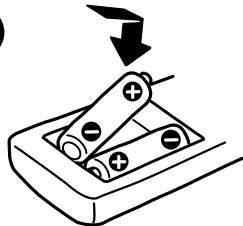
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

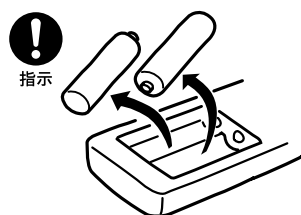
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

VAIOを使うための8つの

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

18ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

20ページ

準備3 接続する

▶ ネットワークケーブル、電源コードなどの接続

21ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

30ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定

32ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う
▶ VAIOをはじめる前の準備
など

38ページ

準備7
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について

42ページ

準備8
重要情報を自動的に入手する

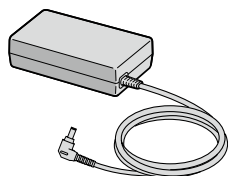
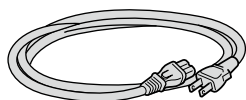
44ページ

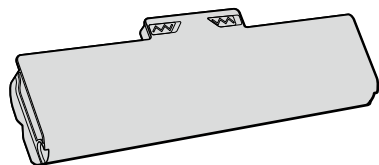
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。
本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ ACアダプタ

❑ 電源コード

！ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ バッテリ

❑ リモコン

（テレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ リモコン用単3マンガン乾電池（2）

（テレビチューナー搭載モデルに付属）

❑ アンテナ変換ケーブル

（テレビチューナー搭載モデルに付属）

説明書・その他

❑ 取扱説明書(本書)

❑ 主な仕様と付属ソフトウェア

❑ 保証書

修理の際に必要になります。

❑ VAIOカルテ

修理の際に必要になります。

❑ B-CASカード

(テレビチューナー搭載モデルに付属)
台紙に貼付されています。
テレビを視聴するためには、B-CASカードを本機に挿入する必要があります。(25ページ)

❑ 「VAIO でビデオ編集を始めよう」CD-ROM

(「Adobe® Premiere® Elements®」ソフトウェアプリインストールモデルに付属)

❑ その他のパンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

❑ Microsoft® Office Personal 2007*1 プレインストールパッケージ

(「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 プレインストールパッケージ

(「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ Microsoft® Office Professional 2007*3 プレインストールパッケージ

(「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」(145ページ)をご覧ください。

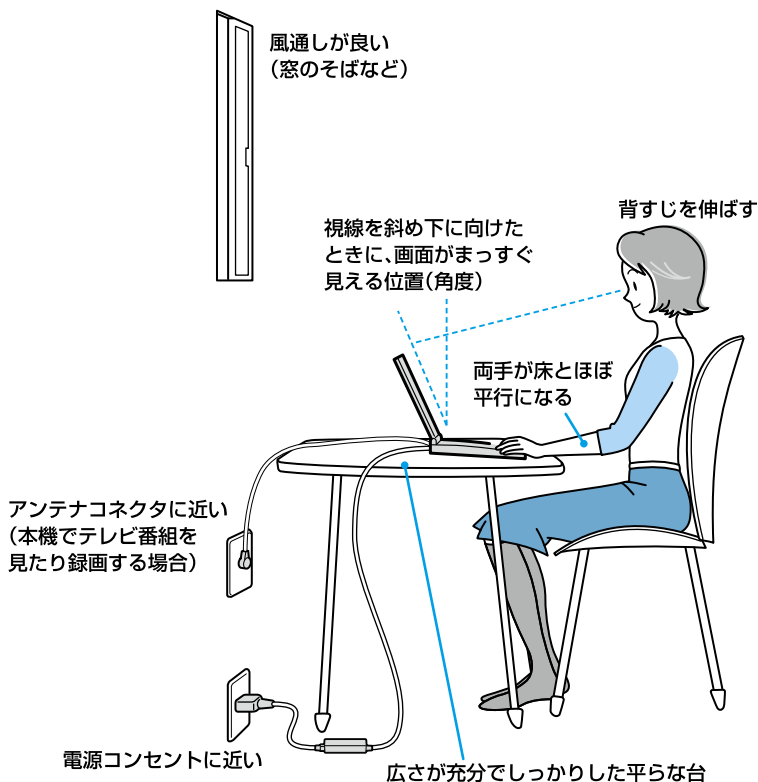
*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは「リカバリする」(88ページ)をご覧ください。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

！ご注意

- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。吸気口からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- 吸気口や排気口には物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

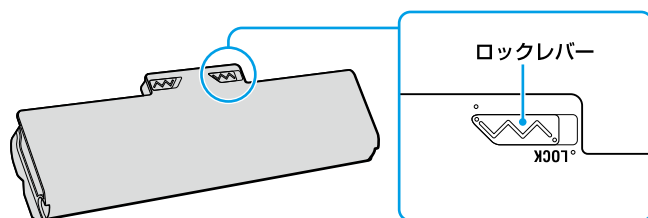
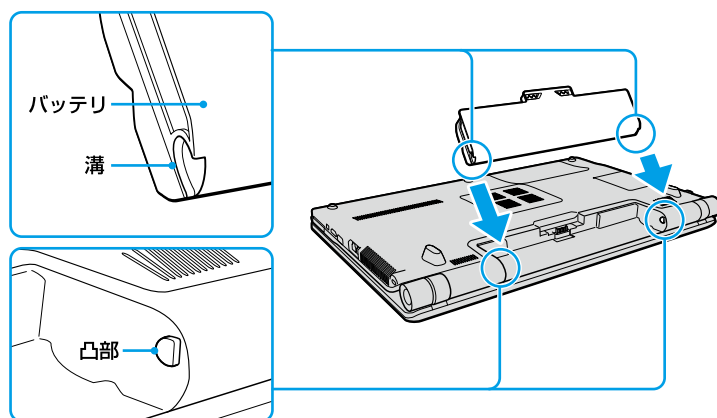
接続する

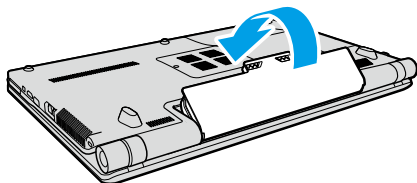
バッテリを取り付ける

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。
あらかじめ「バッテリについてのご注意」（164ページ）をご覧ください。

バッテリは、以下の手順で本体後面のバッテリ取り付け部に取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 バッテリのロックレバーを内側にずらす。

3 バッテリ取り付け部両端の凸部とバッテリ両端の溝をあわせる。

4 バッテリを矢印の方向に回転させながら倒す。

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 ロックレバーを外側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。

!ご注意
本機をお使いになるときは、必ずバッテリのロックレバーをLOCKにした状態でお使いください。

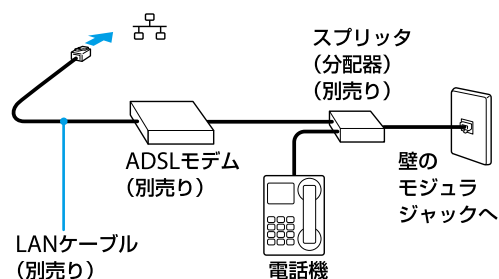
インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは、「インターネットを始める」（65ページ）をご覧ください。

!ご注意
インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

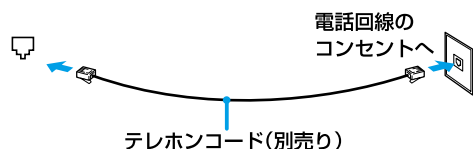
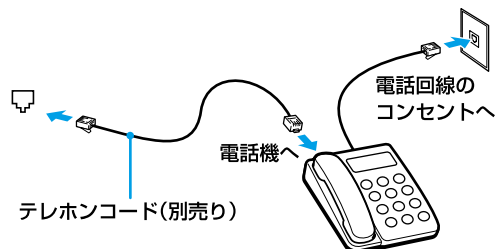
ヒント
ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合は、「Windowsを準備する」（32ページ）の手順に従ってWindowsのセットアップを行った後に、ワイヤレスLANの設定を行ってください。
詳しくは、「ワイヤレスLANで通信する」（67ページ）をご覧ください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、本体左側面のLANコネクタ（154ページ）に接続します。

＊ ADSLの接続例

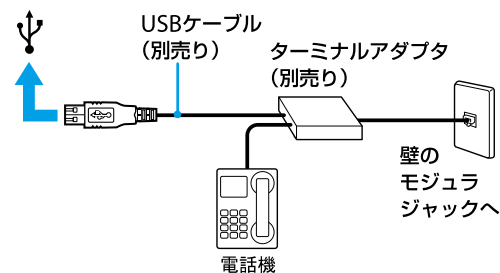
!ご注意
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。
本体左側面の(モジュラジャック)(154ページ)にモジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

!ご注意

- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本体左側面のLANコネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の(モジュラジャック)にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

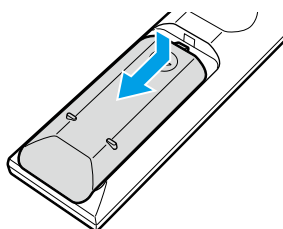
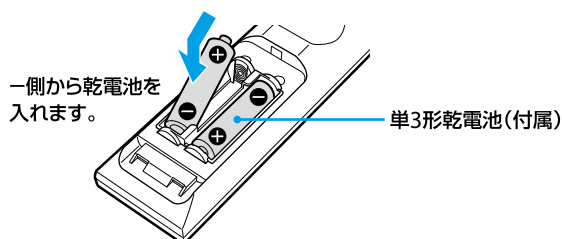
ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機の(USB)コネクタ(153ページ)に接続します。

!ご注意

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

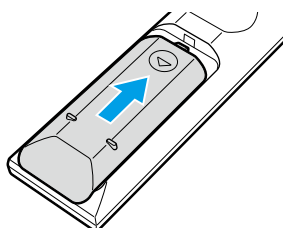
リモコンを準備する（テレビチューナー搭載モデル）

1 リモコンを裏返す。

2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

3 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形乾電池を2本入れる。

！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液をふく際はご注意ください。
- 乾電池は充電しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

4 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する(テレビチューナー搭載モデル)

本機は地上デジタル放送に対応しています。
本機でテレビを楽しむには、まず本機にB-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録します。

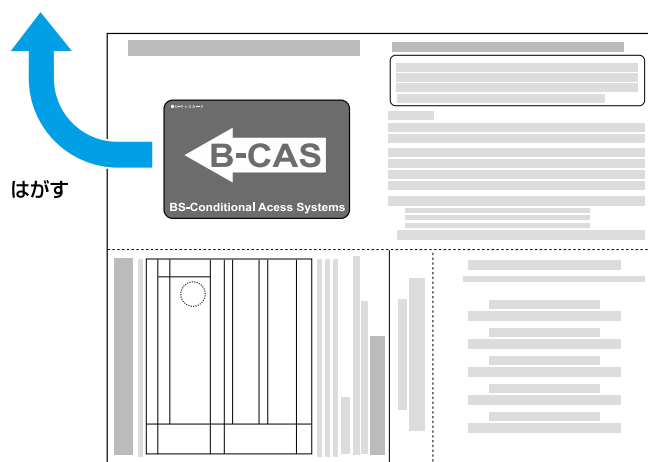
B-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタルの放送局をつなぐカードです。

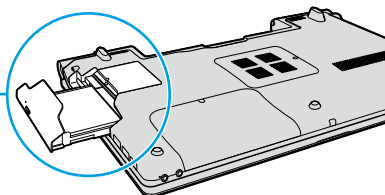
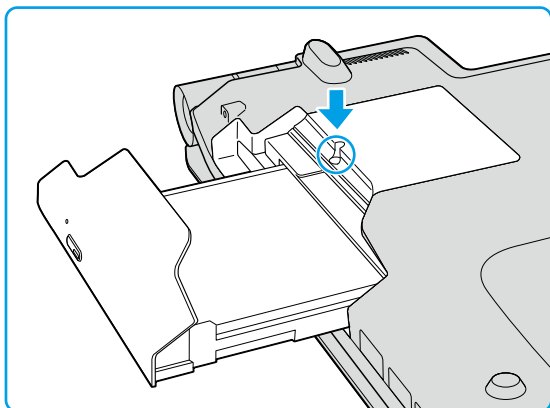
B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送はスクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードを挿入してください。

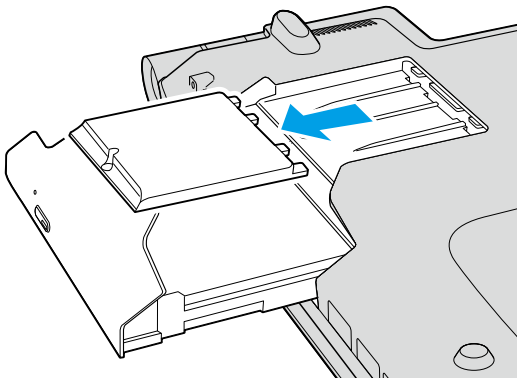
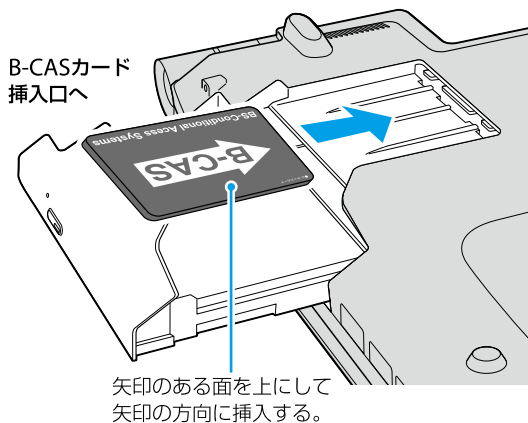
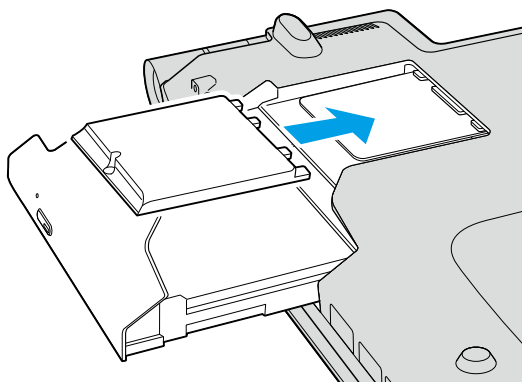
デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。
また、有料番組やPPV番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。
* B-CASは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

!ご注意
ユーザー登録しないと、有料番組が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

1 同梱の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号:0570-000-250)へお問い合わせください。

2 B-CASカードを挿入する。

① 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。
② 本機を裏返し、針金のようなもの(クリップで代用可)をドライブ側面にあるマニュアルイジェクト穴(153ページ)に押し込み、トレイを引き出す。
③ B-CASカードカバーのネジをプラスドライバーで取りはずす。

!ご注意
指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

④ B-CASカードカバーをスライドさせて取りはずす。

⑤ B-CASカード挿入口に、B-CASカードを奥までしっかりと差し込む。

⑥ 取りはずしたB-CASカードカバーを元に戻す。

⑦ 手順3で取りはずしたネジをしっかり締める。
⑧ トレイを「カチッ」と音がするまで本体に押し込む。

3 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

！ご注意

- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込むときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されているためです。
- 転居などの際は、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

ヒント

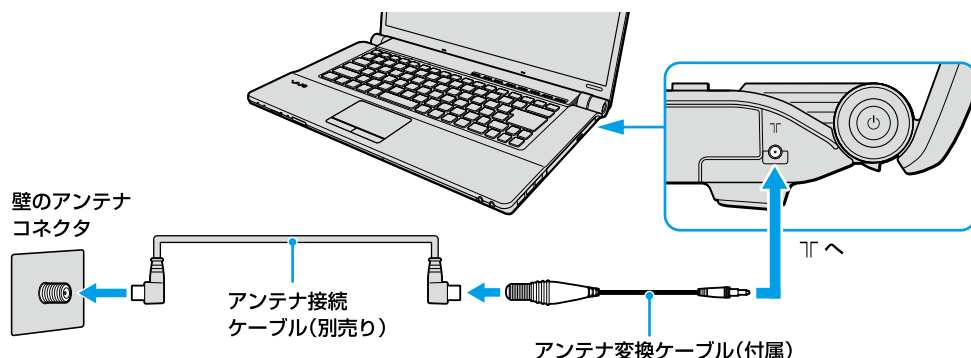
以下のようなメッセージが表示されることがあります。（ICカードとはB-CASカードのことです。）

- 「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください：XXXX」
  - B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  - B-CASカードが前後または表裏逆に入っている。
  - B-CASカードが破損している。
  - B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  - ご覧になっている放送局や110度CSデジタルの衛星サービス会社のカスタマーセンター、またはB-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードを入れてください」
  - B-CASカードが奥までしっかり入っていない。

アンテナを接続する（テレビチューナー搭載モデル）

テレビを見たり、録画するときは、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。
なお、受信できる地上波チャンネルはVHF（1ch-12ch）、CATV（C13ch-C63ch）、UHF（13ch-62ch）です。

1 アンテナを接続する。

本機は、地上デジタル放送を受信する地上デジタル入力コネクタを搭載しています。
本機を使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ変換ケーブルと別売りのアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。

2 電話回線に接続する。

別売りのテレホンコードの一方を本機の（モジュラジャック）へ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。（23ページ）

3 ネットワーク（LAN）ケーブルを接続する。

インターネットへの接続にネットワーク（LAN）ケーブルを使用している場合は、本機のLANコネクタにネットワーク（LAN）ケーブルを接続します。（22ページ）

!ご注意
双方向サービスを利用しない場合や、電話回線を使用してインターネットに接続しているときは、ネットワーク（LAN）ケーブルの接続は不要です。

アンテナについて

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。
現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送を受信できます。
ただし、地上デジタル放送のチャンネルによってはアンテナなどの交換や調整が必要となる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信・視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

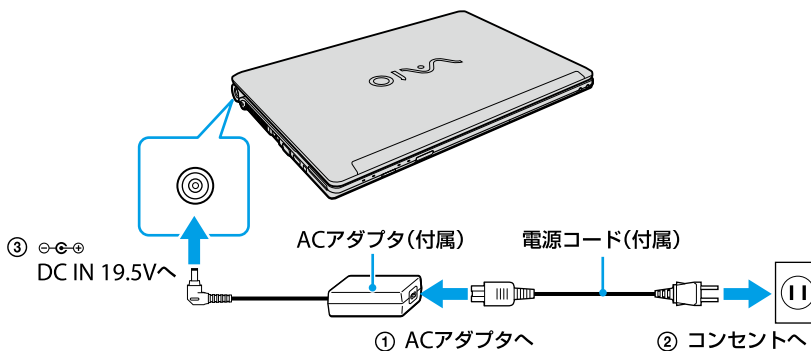
！ご注意
BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送は受信できません。

ケーブルテレビ(CATV)について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機は同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しています(トランスモジュレーション方式には対応していません)。

送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。変換後の周波数がUHF帯以外の帯域の場合は、UHF帯以外の帯域まで受信範囲が拡大されている地上デジタル放送対応テレビまたは、外付けの地上デジタル放送対応チューナーが必要です。
周波数変換パススルー方式	受信した電波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。

電源コードを接続する

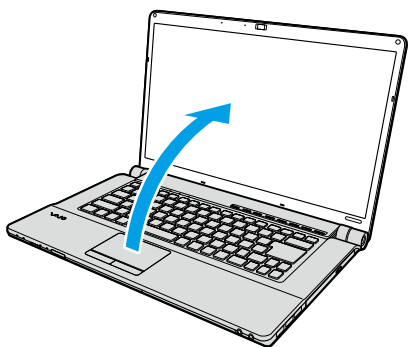
本機と壁のACコンセントを接続します。

1 **電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。**

2 **電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。**

3 **ACアダプタのプラグを、本体左側面の ⊖-◐-⊕ DC IN19.5 Vコネクタに差し込む。**

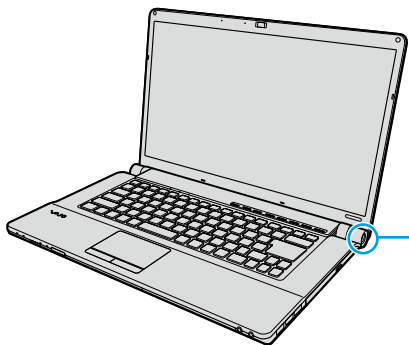
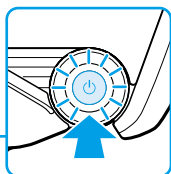
電源を入れる

本機の電源を入れます。

1 ディスプレイパネルを開く。

!ご注意

ディスプレイパネルを開くときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）部分は持たないでください。故障の原因となります。

2 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

!ご注意

- 4秒以上⏻（パワー）ボタンを押したままにすると、電源が入りません。
  ⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。
- ディスプレイパネルを閉じた状態で⏻（パワー）ボタンを押しても電源は入りません。

!ご注意

- 本機の液晶ディスプレイ上面にフロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本機の左ボタン付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スリープモード（お買い上げ時の設定）に移行します。
  本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ヒント
本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スリープ*1)。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押してください。
*1 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]-[電源の管理/起動]-[スリープモード/休止状態にする]をクリックする。)
*2 ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]-[電源の管理/起動]-[スリープモード/休止状態にする]をクリックする。)

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 (スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

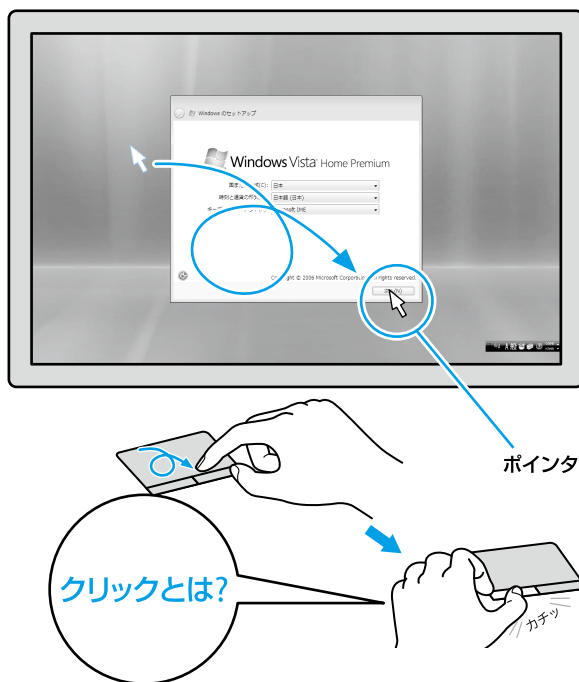
2 -[シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、⏻(パワー)ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]-[電源の管理/起動]-[スリープモード/休止状態にする]をクリックする。)

Windowsを準備する

**電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。**

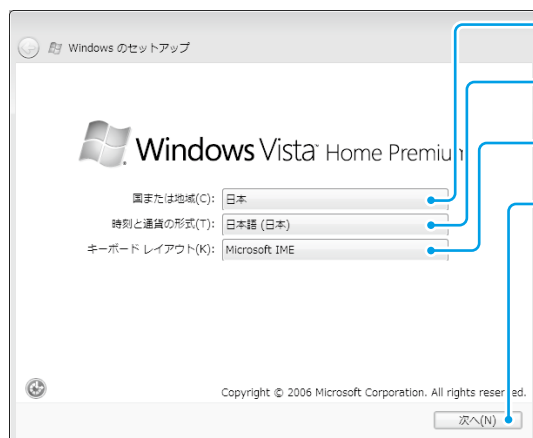
ヒント
Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。

ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

1 電源を入れる。

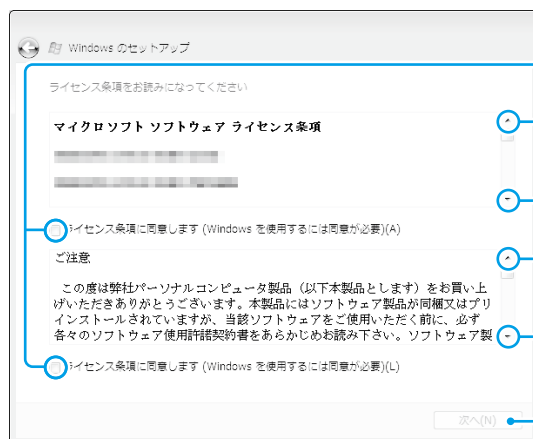
電源ボタンを押し(30ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

! ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ~ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

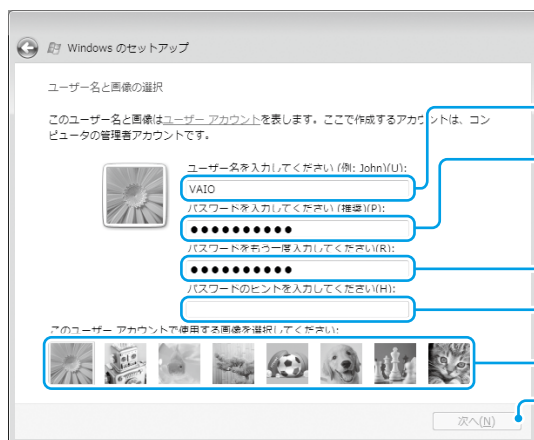
！ご注意
英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。Windowsが起動してから、キーボードの変更を行います。

3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

① 2 か所の[ライセンス条項に同意します]の☐をクリックして☑にする。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

！ご注意
どちらか一方でも☐を☑にしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上の⬅ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

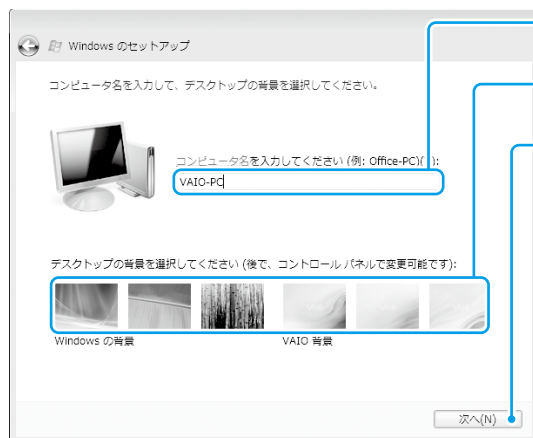
メモ

!ご注意

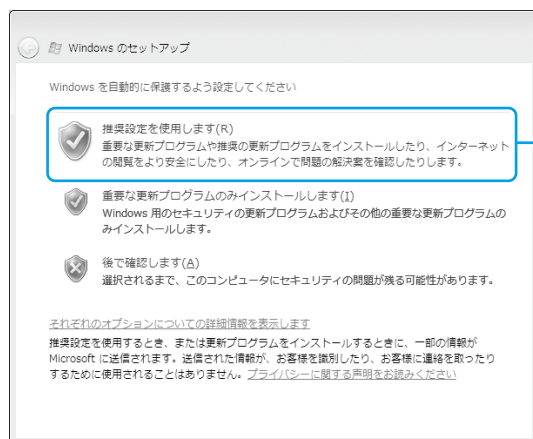
- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

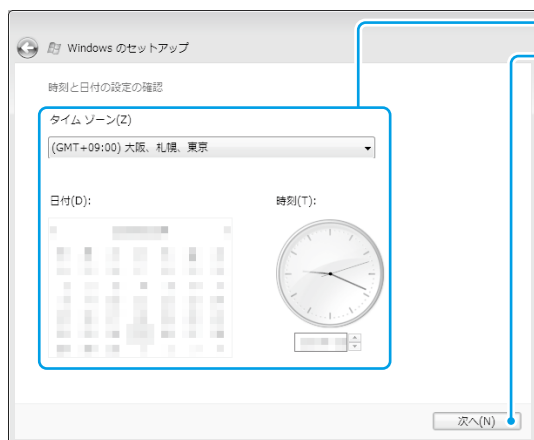
ヒント

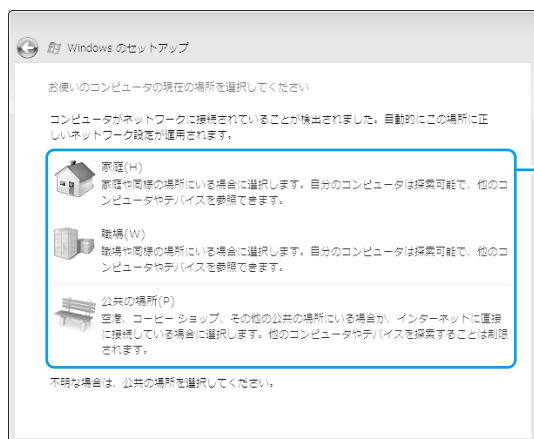
- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
  パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(71ページ)をご覧ください。
- ユーザー名には、半角英数字を使用してください。

5 コンピュータの名前を確認する。

① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。クリックすると背景が変更されます。
③ [次へ]をクリックする。

ヒント
コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します]をクリックする。

日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。
② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

9 設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

ヒント
- Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。
- [いいえ、後で設定します]の項目は、「VAIOをご使用になる前に」の内容をスクロールバーで下にスクロールすると現れます。

セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

ヒント
「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。
引き続き、準備6 ～準備8を行ってください。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(31ページ)をご覧ください。

!ご注意
本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

英語配列キーボードをご使用のお客様へ

本機で英語配列キーボードをお使いの場合、お客様ご自身によるドライバの設定変更が必要です。
設定変更の手順については「よくあるトラブルと解決方法」の「文字入力／キーボード」にある「Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。」(112ページ)をご覧ください。

ヒント
英語配列キーボードかどうかは半角／全角｜漢字キーの有無で確認できます。英語配列キーボードには、半角／全角｜漢字キーがありません。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

準備6

基本設定を行う

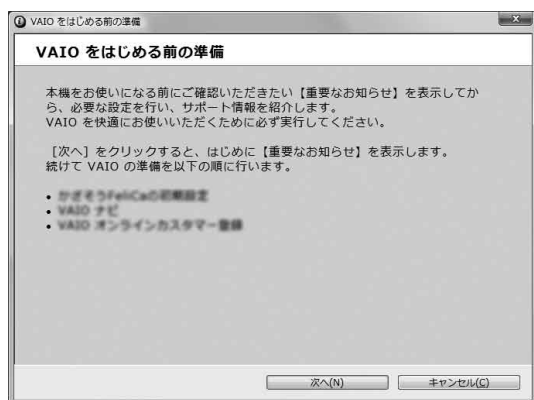
バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット／メール」の章(65ページ)をご覧ください。

VAIOをはじめる前の準備を行う

「VAIO をはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[VAIO をはじめる前の準備]をダブルクリックする。

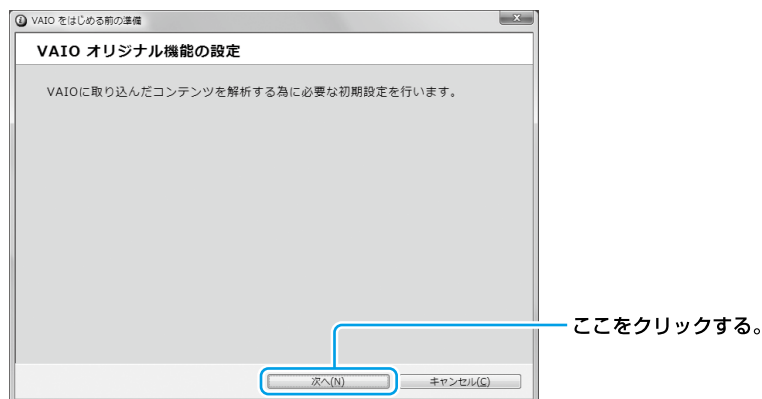
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO をはじめる前の準備」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO をはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

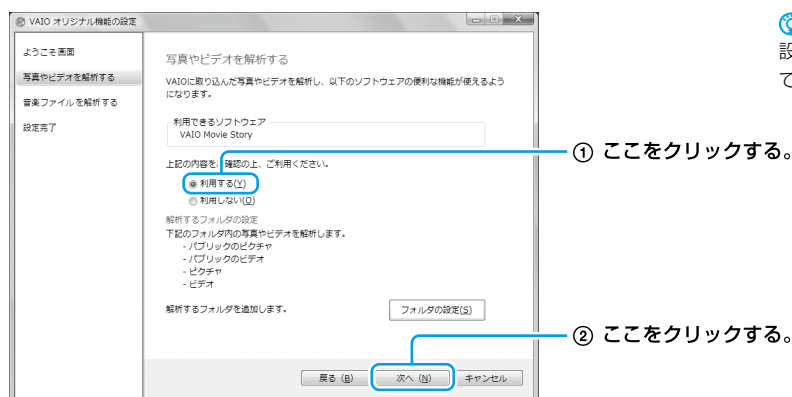
VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオ内のコンテンツ(取り込んだ音楽、写真やビデオなど)を解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「VAIO をはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

ヒント

設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

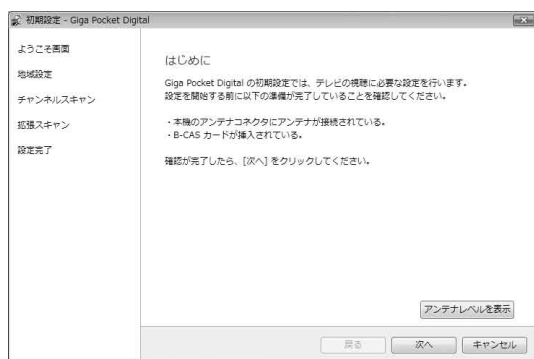
地上デジタル放送の設定を行う（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送を楽しむには、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使用します。
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアをはじめてお使いになるときは、チャンネル設定など初期設定をする必要があります。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital]をクリックする。

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

ヒント
デジタル放送の双方向サービスは、インターネットを経由して利用できます。
双方向サービスを利用しない場合は、ネットワーク（LAN）ケーブルの接続は不要です。

2 アンテナ接続やB-CASカードの挿入を確認し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[アンテナレベルを表示]をクリックすると、テレビ信号の受信強度についての画面が表示されます。

3 画面の指示に従って、以下の設定を行う。

- 「地域設定」画面
  お住まいの地域を選択し、郵便番号を7桁で入力してから、[次へ]をクリックします。
- 「チャンネルスキャン」画面
  [開始]をクリックします。

ヒント
郵便番号は、データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

4 チャンネルスキャンの結果を確認し、[次へ]をクリックする。

表示されたチャンネルが少ない場合は、[戻る]をクリックして前の画面に戻り、アンテナの接続を確認したうえで再度[開始]をクリックしてください。
それでも少ない場合は、拡張スキャンを行ってください。

ヒント

- CATVのチャンネルをスキャンする場合は、[拡張スキャンを行う]にチェックを付けてから[次へ]をクリックします。
  CATVのスキャンが開始され、結果が表示されたら[次へ]をクリックしてください。
- 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアでは、CATV事業者側で受信した地上デジタル放送の変調方式を変更せずに再送信するパススルー方式に対応しています。パススルー方式には、周波数を変換するものとそのままのものがありますが、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアはどちらの方式にも対応しています。

5 設定完了画面が表示されたら、[終了]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
表示されない場合は、すでにVAIO オリジナル機能の設定が完了しています。

ヒント

- VAIO オリジナル機能の設定を行うと、ダイジェスト再生をしたり、CMや店舗／商品情報を表示したりして、デジタル放送を楽しむことができます。
- VAIO オリジナル機能の設定を変更するときは、ビデオ一覧画面を表示し、ツールバーの 右にある▼をクリックして表示されたメニューから[VAIO コンテンツ解析マネージャの設定]を選択して設定を変更してください。設定について詳しくは、VAIO コンテンツ解析マネージャのヘルプをご覧ください。

コンテンツ解析について

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、録画した番組コンテンツに対して、VAIO コンテンツ解析マネージャを使って録画したコンテンツの解析を行います。(コンテンツ解析)
解析されたコンテンツは、ダイジェスト再生やカタログビュー再生を可能にしたり、付加された情報を使ってコンテンツを管理しやすくしたり、CMや店舗／商品情報の表示をしたりすることができます。
VAIO コンテンツ解析マネージャについては、「VAIO コンテンツ解析マネージャ」のヘルプをご覧ください。

！ご注意

コンテンツ解析を行うには、インターネットに接続しておく必要があります。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせなど、より充実したサービスサポートを受けることができます。「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、「My Sony ID」を使用したご登録者限定メニューがご利用いただけます。
なお、VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（130ページ）までご連絡ください。

ヒント

My Sony IDはソニー共通体系のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

！ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

VAIOカスタマー登録での個人情報取り扱いについて

ソニーでは、カスタマー登録時にご提供いただくお客様の個人情報について、適切な取り扱いに取り組んでおります。
個人情報の取り扱いについて詳しくは、下記をご参照ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/agreement.html

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供
② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供
③ 特典情報やキャンペーンなど、バイオに関するさまざまな情報を提供

❑ ご利用いただけるサポート

- **フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせ**
  使いかたに関するお問い合わせ窓口（VAIOカスタマーリンク使い方相談窓口）がフリーダイヤルでご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。
  24時間ご利用可能です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら操作方法などをご案内します。
- **テクニカルWebサポート**
  バイオに関する使いかたなどの質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でバイオに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
- VAIO Overseas Service（海外修理サービス）
- VAIOソフトウェアセレクション（ソフトウェア・ダウンロード販売サイト）

※2008年6月現在
ご利用いただけるサポートや有料サービスについて詳しくは、126ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

！ご注意

- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO オンラインカスタマー登録］をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

！ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。この場合は「MyVAIO」（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO）の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、［ご登録ページへ］をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

重要情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」とは、ソニーが提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にする「アップデートプログラム」などの重要な情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。
情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせしますので、必ずご確認ください。

ヒント
- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。(インターネットの通信費はお客様負担となります。)
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Update 4]－[VAIO Updateの設定]をクリックする。

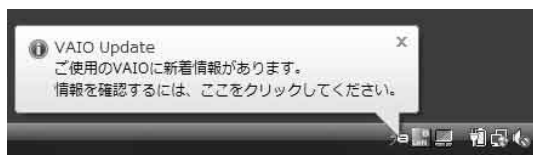
「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

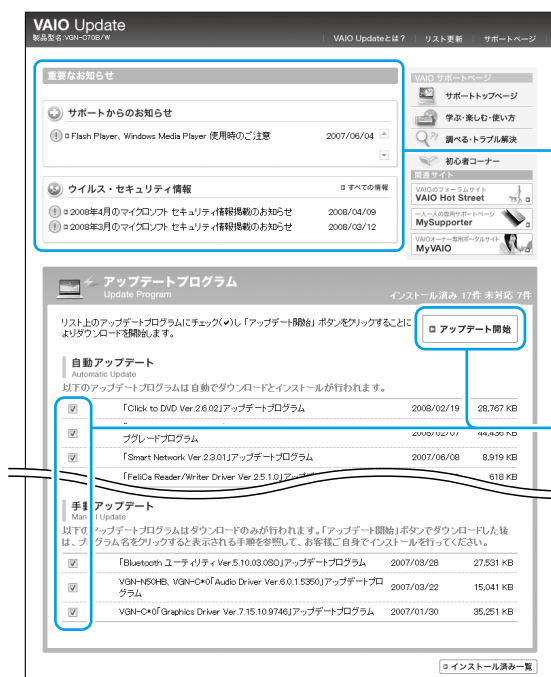
2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読み、「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

ヒント
「重要な新着情報のみ通知する」のチェックボックスにチェックをすると、セキュリティ対策など、より重要度の高いお知らせやアップデートプログラムの新着情報のみバルーンでお知らせします。

「VAIO Update」を利用する

1 情報が更新されると、タスクバーの通知領域にお知らせのバルーンが表示されるので、バルーン画面をクリックする。

「VAIO Update画面」が表示されます。

ヒント
実際の画面とは異なる場合があります。

2 「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。

重要なお知らせを確認する
セキュリティ関連情報など、ソニーがお客様に提供する「重要なお知らせ」を確認できます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

アップデートを行う（バイオを最新の状態にする）
[アップデート開始]ボタンをクリックする
チェックボックスにチェックがついているプログラムのアップデートが開始されます。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。
自動アップデート：ダウンロードとインストールを自動で行います。
手動アップデート：ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。

ヒント
- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。
- 実際の画面とは異なる場合があります。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクを作成してください。

- 「リカバリディスクを作成する」(77ページ)をご覧ください。

❑ 電子メールをやりとりしたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(47ページ)
  ([インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- 「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。(47ページ)
  ([できるWindows for VAIO]をクリックする。)
- VAIOカスタマーリンクのホームページ(126ページ)をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック！

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリックする。**

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 **大項目を選ぶ**
「パソコン本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2 **目的の情報を選ぶ**
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 **表示された説明を読む**
画面の右側に情報が表示されます。

ヒント
VAIO 電子マニュアルに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

ヒント
VAIO ナビに表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

テレビ

テレビを見る（テレビチューナー搭載モデル）

本機を操作して、現在放送中のテレビを見ます。
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、リモコンでもマウスでも操作できます。
ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

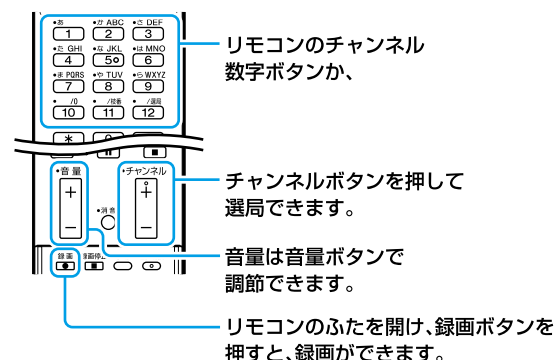
ヒント
デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動する。

リモコンのテレビボタンを押します。

ヒント
- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。（40ページ）
- （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Giga Pocket Digital テレビを見る］をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 チャンネルを切り換える。

リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネルボタンを押してチャンネルを切り換えます。

ヒント
連動データボタンを押すと、データ放送（番組に関連した情報や地域密着の情報）が表示されます。

！ご注意
緊急警報放送による自動起動には対応しておりません。

本機をセットアップする
ソフトウェアを使ってみよう
インターネット／メール
セキュリティ
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

録画予約する（テレビチューナー搭載モデル）

番組表を使ってデジタル放送の番組の録画予約を行うことができます。
ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント
- デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 録画時のハードディスク使用量の目安は、地上デジタル放送（約17Mbps）の場合、「約7.5GB/1時間」です。

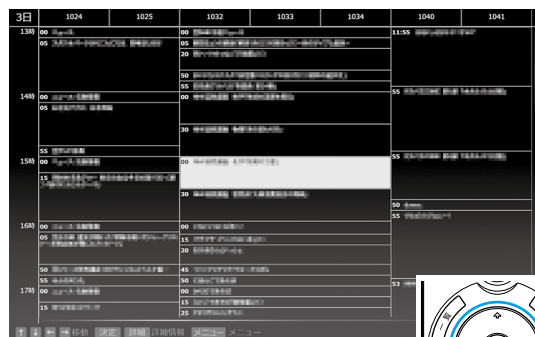
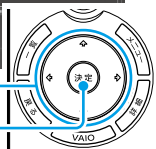
！ご注意
録画予約を設定しても、予約録画開始時に本機の電源が切れていると予約録画は行われません。予約録画開始前は本機の電源を切らず、スリープまたは休止状態にしてください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの番組表を起動する。

リモコンの番組表ボタンを押します。

ヒント
- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。（40ページ）
- （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［Giga Pocket Digital 番組表を見る］をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 録画予約する番組を選択する。

リモコンの上下左右ボタンで番組を選択し、決定ボタンを押します。

番組の詳細情報画面が表示されます。

ヒント
他の日付を選ぶには、リモコンのメニューボタンを押して表示されたメニューで、［日付を指定して表示］を選択し、決定ボタンを押します。表示された日付の中から、目的の日付を選択し、決定ボタンを押してください。

3 内容を確認し、予約を選ぶ。

番組詳細情報画面で内容を確認してからリモコンの上下左右ボタンで[予約]を選択し、決定ボタンを押します。

4 予約を確定する。

リモコンの上下左右ボタンで[OK]を選択し、決定ボタンを押します。

録画予約が登録され、番組詳細情報画面に戻ります。

5 番組詳細情報画面を閉じる。

リモコンの左右ボタンで[閉じる]を選択し、決定ボタンを押します。

番組表に戻ります。

録画した番組を見る(テレビチューナー搭載モデル)

録画したデジタル放送の番組はビデオとして「ビデオ一覧」画面に登録されます。この一覧からビデオを選んで再生します。

ここでは、リモコンを使った操作方法を説明します。

ヒント

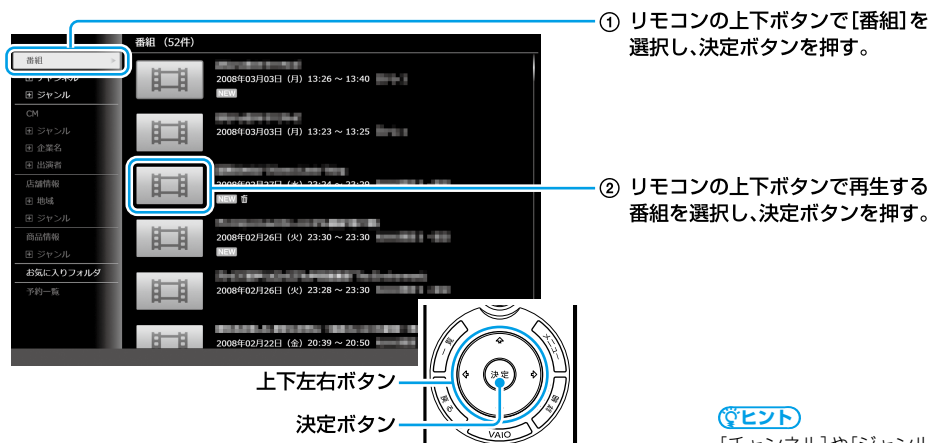
デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのビデオ一覧を起動する。

リモコンのビデオ一覧ボタンを押します。

ヒント

- 初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(40ページ)
- (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Giga Pocket Digital ビデオ一覧を見る]をクリックしても「Giga Pocket Digital」ソフトウェアが起動します。

2 再生する番組を選択する。

番組の再生が始まります。

ヒント

[チャンネル]や[ジャンル]を選択して決定ボタンを押すと、画面右側のブラウズエリアの表示が、チャンネルごと、またはジャンルごとに切り換わります。

録画した番組を書き出す(テレビチューナー搭載モデル)

録画した番組をメディアに書き出します。

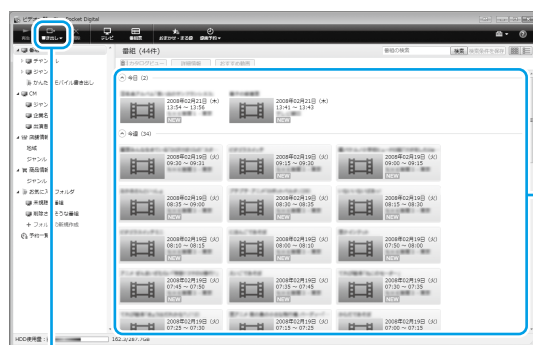
ヒント
- 書き出しはリモコンで操作できません。
- デジタル放送についての詳しい操作方法は、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

あらかじめ、ブランクメディア(データの書き込まれていないBD、DVDまたは"メモリースティック")をドライブやスロットに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」(167ページ)をご覧ください。

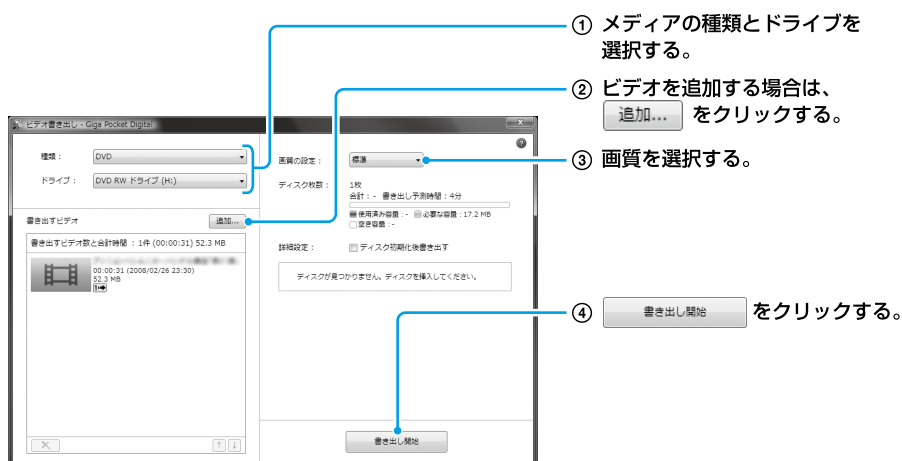
1 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのビデオ一覧を起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital ビデオ一覧を見る]をクリックします。

ヒント
初回起動時に初期設定画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(40ページ)

2 書き出すビデオを選択する。

① 一覧から書き出したいビデオを選択する。

② (書き出し)をクリックする。

3 メディアに書き出す。

！ご注意

書き出し可能回数に制限があるビデオをメディアに書き出すと、書き出し可能回数が減少します。

1➡ の付いているビデオを書き出すと、移動（ムーブ）になり、ハードディスクから消去されます。

ダビング10について

「Giga Pocket Digital」ソフトウェアは、新しいコピー制御方式「ダビング10」に対応しています。
ハードディスクに録画した「ダビング10」の番組は、Blu-ray DiscやCPRM対応のDVD、"メモリースティック"へ9回の書き出しと1回の移動（ムーブ）が可能です。
移動した場合は、本機のハードディスクから自動的に消去されます。
なお、デジタル放送のすべての番組が「ダビング10」に対応するわけではありません。

テレビをもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO ナビ］をクリック！

音楽

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音して、自分だけの音楽ライブラリを作成できます。

!ご注意

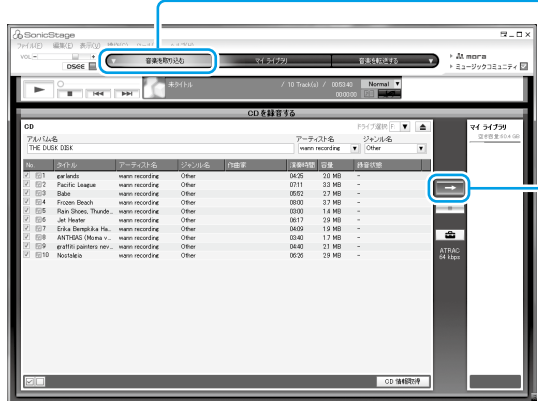
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

1 「SonicStage」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックします。

2 音楽CDをドライブに入れる。

ヒント

「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、自動録音に関する設定を行います。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 取り込みを開始する。

① 音楽を取り込む にポインタをあわせて、[CD を録音する]を選択する。

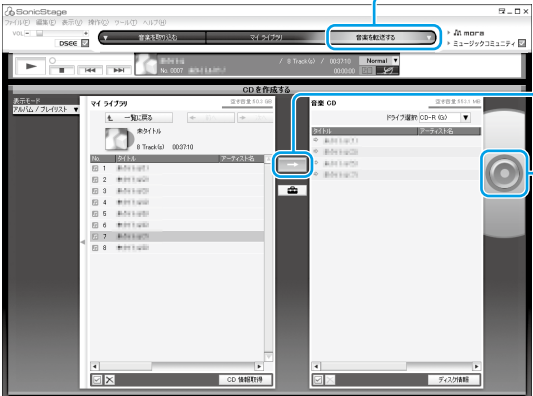
② をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ヒント

取り込みたくない曲がある場合は、をクリックする前に、CDトラック番号の を クリックして にします。

音楽CDを作る

曲やアルバムを選んで、お好みの音楽CDを作成できます。

！ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

> あらかじめ、ブランクメディア（データの書き込まれていないCD-R、CD-RW）をドライブに入れてください。
> 自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
> 本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」（167ページ）をご覧ください。

1 「SonicStage」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックします。

2 音楽CDを作成する。

3 「書き込み設定」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

音楽を楽しむ

取り込んだ曲の中から、その日の気分や雰囲気、時間帯にあった曲を自動選曲して再生します。

1 「VAIO MusicBox」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO MusicBox]をクリックします。

ヒント
初回起動時に「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、画面の指示に従って設定してください。(39ページ)

2 再生する。

雰囲気や気分にあわせた曲が再生されます。

他の再生方法で楽しむには

MIX機能
再生中の曲に関連した曲を再生できます。
3つのボタンで、アーティスト／年代／アルバムごとのシャッフル再生に切り替えることができます。

サビ再生
クリックすると、曲の盛り上がり部分のみを再生します。
もう1度クリックすると、通常再生に戻ります。

！ご注意
曲によっては、サビ情報を取得できない場合があります。

音楽をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

写真・ビデオ

やってみよう！

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込もう

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込んで管理しましょう。取り込んだ写真やビデオは、カレンダー形式で楽しむことができます。

STEP1
PMB（Picture Motion Browser）で
画像を取り込む
⇨ 59ページ

STEP2
PMB（Picture Motion Browser）で
写真やビデオを見る
⇨ 60ページ

ショートムービーを作成してBD・DVDを作ろう

撮影した写真やビデオからショートムービーを作成してみましょう。作成したショートムービーは、BDやDVDに書き出すことができます。

＊ BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルのみです。

STEP1
PMB（Picture Motion Browser）で
画像を取り込む
⇨ 59ページ

STEP2
VAIO Movie Story で
ショートムービーを作成する
⇨ 61ページ

STEP3
VAIO Content Exporter で
ショートムービーを書き出す
⇨ 62ページ

撮影した写真やビデオから、こだわりのBD・DVDを作ろう

撮影した写真やビデオからこだわりのBDやDVDを作成してみましょう。

＊ BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルのみです。

STEP1
PMB（Picture Motion Browser）で
画像を取り込む
⇨ 59ページ

STEP2
Click to Disc Editor で
オリジナルBD・DVDを作成する
⇨ 63ページ

写真やビデオを取り込む

撮影した写真やビデオをVAIOに取り込みます。

1 デジタルスチルカメラやハンディカムの電源を入れ、本機の⫯(USB)コネクタやi.LINKコネクタに接続する。

ヒント
- 接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 取り込み画面が表示された場合は、手順5に進んでください。

2 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Sony Picture Utility]－[PMB - Picture Motion Browser]をクリックします。

3 [ファイル]メニュー－[画像の取り込み]をクリックする。

4 取り込む対象を選択する。

5 画像を取り込む。

取り込み画面が表示されます。
画面の指示に従って取り込んでください。

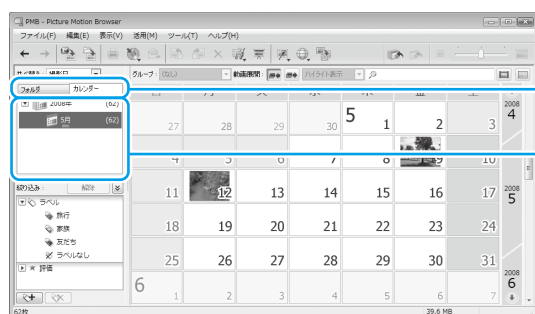
ヒント
接続するハンディカムの種類によって、取り込み方法が異なります。
詳しくは、「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

写真やビデオを見る

取り込んだ写真やビデオを表示して楽しみます。

1 「PMB（Picture Motion Browser）」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Sony Picture Utility］－［PMB - Picture Motion Browser］をクリックします。

2 見たい画像を選択する。

① タブをクリックして、表示方法を切り替える。

② フォルダや年月アイコンをクリックして、見たい画像を表示する。

サムネイルが表示されます。

ヒント

画像を大きく表示して見るには、サムネイルをダブルクリックします。

写真の向きを変えたいときは

写真を選択して、 や （回転アイコン）をクリックしてください。

ショートムービーを作成する

取り込んだ写真やビデオから、ショートムービーを作成できます。

1 「PMB(Picture Motion Browser)」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Sony Picture Utility]－[PMB - Picture Motion Browser]をクリックします。

2 ショートムービーに使用する画像を選択し、「VAIO Movie Story」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、(外部プログラムから開く)－[VAIO Movie Story]をクリックします。

3 ショートムービーを作成する。

4 書き出す。

[書き出し]をクリックして、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動します。
書き出しについては、次のページの手順3をご覧ください。

写真やビデオを書き出す

取り込んだ写真やビデオ、「VAIO Movie Story」ソフトウェアで作成したショートムービーをディスクに書き出すことができます。

ヒント
「ショートムービーを作成する」の手順4で、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動している場合は、手順3に進んでください。

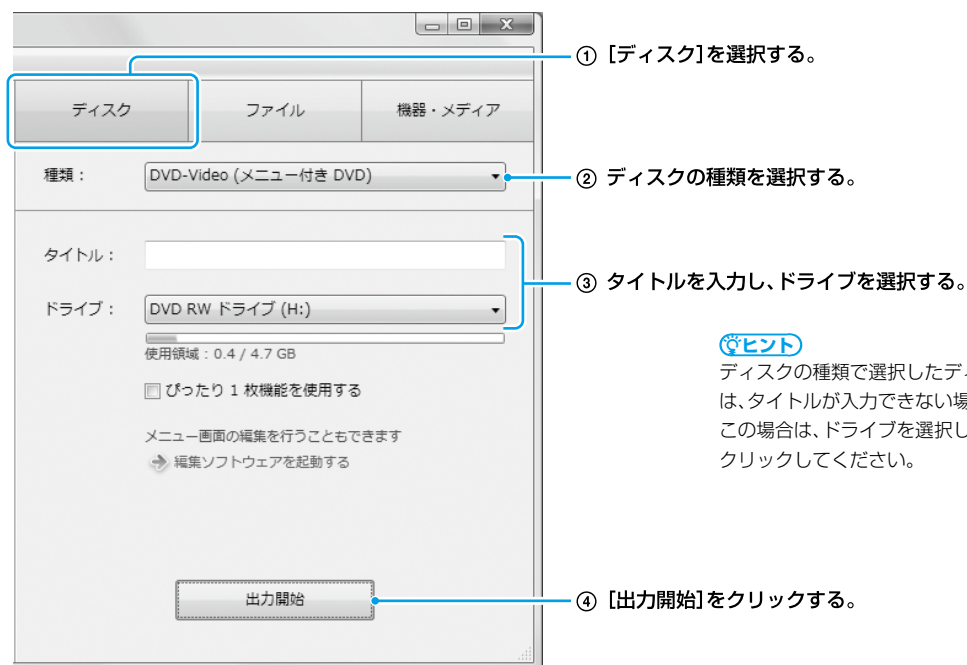
あらかじめ、ブランクメディア（データの書き込まれていないBDまたはDVD）をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」（167ページ）をご覧ください。

1 「PMB（Picture Motion Browser）」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Sony Picture Utility］－［PMB - Picture Motion Browser］をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、「VAIO Content Exporter」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、 （外部プログラムから開く）－［VAIO Content Exporter］をクリックします。

3 ディスクに書き出す。

ヒント
ディスクの種類で選択したディスクによっては、タイトルが入力できない場合があります。この場合は、ドライブを選択して［出力開始］をクリックしてください。

ディスクへの書き込みが始まります。

オリジナルBD・DVDを作成する

取り込んだ写真やビデオを編集して、ディスクに書き出すことができます。

あらかじめ、ブランクメディア（データの書き込まれていないBDまたはDVD）をドライブに入れてください。
自動再生画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
本機で使用できるディスクは、「使用できるディスクとご注意」（167ページ）をご覧ください。

！ご注意

BDに書き込めるのは、ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルのみです。

1 「PMB（Picture Motion Browser）」ソフトウェアを起動する。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Sony Picture Utility］－［PMB - Picture Motion Browser］をクリックします。

2 ディスクに書き出す画像を選択し、「Click to Disc Editor」ソフトウェアを起動する。

画像を選択し、（外部プログラムから開く）－［Click to Disc Editor］をクリックします。
ディスクの種類を選択する画面が表示されるので、ディスクの種類を選択してください。

3 編集する。

① ディスクタイトルを入力する。

② メニューデザインを選択... をクリックして表示された画面で、メニューデザインを選択する。

4 ディスクに書き出す。

［ディスク作成開始］をクリックすると、ディスクへの書き出しが始まります。

写真・ビデオをもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO ナビ］をクリック！

BD・DVD再生

BD・DVDを見る

「WinDVD」ソフトウェアでBDやDVDを再生します。

！ご注意

- 本機でBDやDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ブルーレイディスクドライブ搭載モデル以外をお使いの場合は、BDを再生できません。

1 「WinDVD」ソフトウェアを起動する。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[InterVideo WinDVD]－[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

2 再生したいBDまたはDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

BD・DVD再生をもっと楽しむには？

VAIO ナビを使って目的の項目から最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリック！

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピュータ同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。
電子メールについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。）

インターネットに接続するまでの流れ

手順1
接続する回線の種類を決める
「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（66ページ）。

手順2
プロバイダと契約する
手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3
回線装置などを接続・設定する
プロバイダから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4（ワイヤレスLANを使用しない場合）
本機を接続する
「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します（22ページ）。

手順4（ワイヤレスLANを使用する場合）
本機を設定する
「ワイヤレスLANで通信する」をご覧になり、ワイヤレスLANに必要な設定をします（67ページ）。

!ご注意
- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

FTTH(光)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH(光)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH(光)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダ接続情報 (アカウント名、パスワード、DNSサーバなど)	プロバイダ
メール設定情報 (メールアドレス、メールアカウントなど)	プロバイダ
パソコン側の設定	VAIOカスタマーリンク

ワイヤレスLANで通信する

「インターネットに接続するまでの流れ」の手順3まで終了し(65ページ)、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の[パソコン本体の使いかた]－[LAN ／ワイヤレスLAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 WIRELESSスイッチを「ON」にあわせる(151ページ)。

ワイヤレス機能がオンになり、WIRELESSランプが緑色に点灯します。

2 (スタート)ボタン－[接続先]をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先のワイヤレスLANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択したワイヤレスLANアクセスポイントの欄に「接続済み」と表示されます。
リストに接続先のワイヤレスLANアクセスポイントが見つからない場合は、(更新)をクリックしてください。
セキュリティ キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じて「セキュリティ キー」を入力し、[接続]をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

4 [このネットワークを保存します]、[この接続を自動的に開始します]にチェックを入れて、[閉じる]をクリックする。

上記項目にチェックをつけない場合、再起動やスリープから復帰した際に、再度手動で接続を行う必要があります。

5 (スタート)ボタン－[インターネット]をクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の[パソコン本体の使いかた]－[LAN ／ワイヤレスLAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 (スタート)ボタン－[接続先]をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2 [接続またはネットワークをセットアップします]をクリックする。

3 [ワイヤレスネットワークを手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

4 お使いになるアクセスポイントにあわせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]をクリックしてチェックします。
- アクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]をクリックしてチェックします。

ワイヤレスLANの通信を終了するには

WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせます。ワイヤレスLAN機能がオフになり、WIRELESSランプが消灯します。

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピュータウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[インターネットのセキュリティについて]をクリックする。）

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（32ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PC セキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク セキュリティ専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（年中無休）
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

!ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

6 [パスワードの作成]をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて[はい、個人用にします]または[いいえ]をクリックしてください。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

文字(アルファベットの大文字)
A, B, C, D, E ...

文字(アルファベットの小文字)
a, b, c, d, e ...

数字
0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

記号(文字または数字として定義されないもの)
` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ | : ; " ' < > , . ? /

Windowsパスワードを変更する

1 (スタート)ボタンー[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除する

1 (スタート)ボタンー[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの削除]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

増設する

メモリを増設する

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

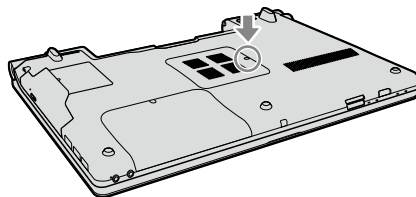
メモリを取り付けるには

！ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリを取り付けた状態でメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

底面のネジをプラスドライバーで取りはずします。

！ご注意

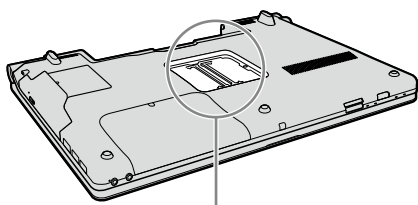
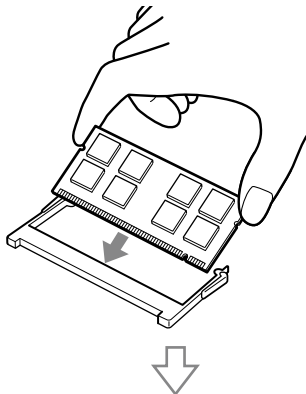
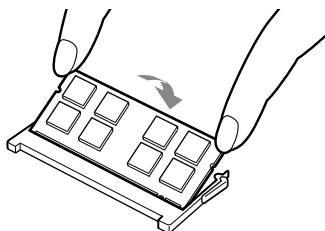
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3 本機の金属部などに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4 メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

① メモリモジュールの両端を持って、コネクタ部分から差し込む

② メモリモジュールの両端を、両手を使って押し、「カチッ」と音がするまで倒す

!ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付けて、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]－[システム情報]をクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

メモリを取りはずすには

！ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

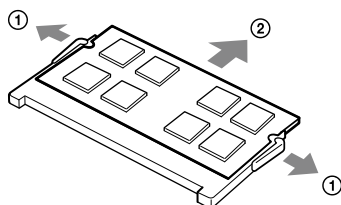
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 「メモリを取り付けるには」の手順2を行う。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

5 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（79ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」（79ページ）をご覧ください。
- **Complete PC バックアップ**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップは、Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルではお使いになれません。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」（81ページ）をご覧ください。
- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（82ページ）をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。（96ページ）

！ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。
  本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」（77ページ）をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(88ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html

* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(42ページ)

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。
  ディスクの作成に失敗することがあります。
- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。

!ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(167ページ)をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

ヒント

リカバリディスクを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
VAIO Updateについて詳しくは、「本機をセットアップする」内「重要情報を自動的に入手する」(44ページ)をご覧ください。
VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
また、本機をリカバリした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント
画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリディスクの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。（チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。）

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

(Windows Vista Business搭載モデルをお使いの場合)

(Windows Vista Home Premium / Home Basic搭載モデルをお使いの場合)

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(96ページ)
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意
- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元センター」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

！ご注意
Complete PC バックアップは、Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルではお使いになれません。

Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。
ハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [コンピュータのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

！ご注意
Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

！ご注意
- Complete PC バックアップは、Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルではお使いになれません。
- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。
④ 手順3に進む。

2 矢印キーで「Windows 回復環境 (Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順5へ進んでください。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

6 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

7 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

8 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、手順1の画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

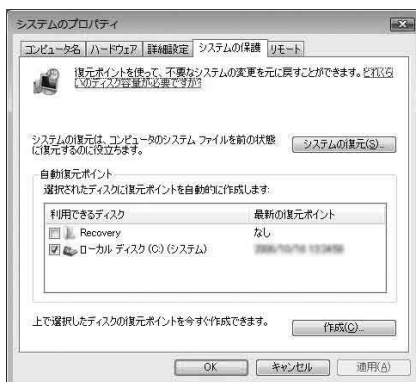
ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

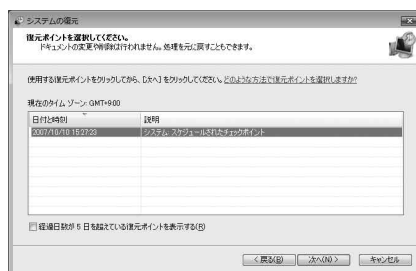
1 「バックアップと復元センター」を起動する。

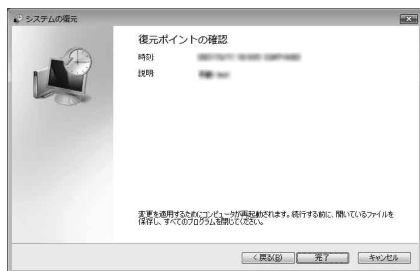
2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。

③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

④ 手順3に進む。

2 矢印キーで「Windows 回復環境 (Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順5へ進んでください。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント

ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(93ページ)

5 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 ～ 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

!ご注意

- ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にプログラムの削除を行ってください。正常に復元できない場合があります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(87ページ)

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。(77ページ)

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。(79ページ)

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。(83ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(85ページ)
- 以前にComplete PC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。(81ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。
  また、Complete PC バックアップはWindows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルではお使いになれません。

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、「Windowsからリカバリするには」(89ページ)の手順に従ってリカバリする。

!ご注意
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1

以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。(83ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にComplete PC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。(81ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。(93ページ)
  また、Complete PC バックアップはWindows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルではお使いになれません。

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2

データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。(93ページ)

本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3

「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。

「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスク)の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4

「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(91ページ)の手順に従って、リカバリする。

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

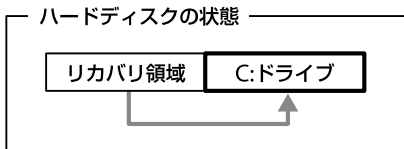
リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

リカバリの種類

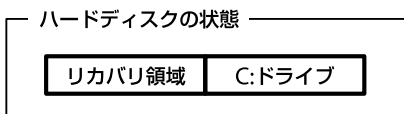
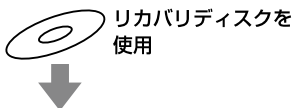
リカバリ方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリ」を行うことをおすすめします。

❑ C ドライブのリカバリ

C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

C:ドライブのみデータが削除されます。
リカバリ領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリ

ハードディスク上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

リカバリディスクを使用

ハードディスク上にあるすべてのデータが削除されます。

！ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（77ページ）

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてリカバリできなくなったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ（「SonicStage」ソフトウェアなどで取り込んだ音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど）をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。
（例：「SonicStage バックアップツール」など）
本機をリカバリする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。
専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。
Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(91ページ)をご覧ください。

!ご注意
ドライブにディスクが入っている場合は、すべて取り出してから以下の手順で操作してください。

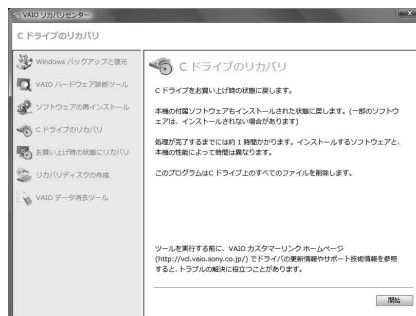
1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント
- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(96ページ)
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクのデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント
[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、リカバリディスクの作成を警告する画面が表示されます。
リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って、事前にリカバリディスクを作成してください。
すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。
その後、画面の指示に従ってパーティションの設定を行ってください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント
- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら[完了]をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」(32ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
  「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
  「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
  インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。
⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
  引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」(80ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが起動しない状態でリカバリするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリディスクを使ってリカバリする
  リカバリ領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリディスクを使ってリカバリすることができます。ただし、リカバリ領域からリカバリするよりも時間がかかります。
- リカバリ領域からリカバリする
  ハードディスクのリカバリ領域からリカバリするため、リカバリディスクを使うよりも速くリカバリすることができます。

リカバリディスクを使ってリカバリするには

1 **本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。**

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

2 **矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。**

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 **画面左側の［C ドライブのリカバリ］または［お買い上げ時の状態にリカバリ］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。**

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、［VAIO データレスキューツール］をクリックし、バックアップしてください。（93ページ）
- ［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックする。）

Windowsのリカバリが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4 **「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。**

これでシステムのリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。

⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。(94ページ)

リカバリ領域からリカバリするには

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリディスクを使ったリカバリの手順3からの操作と同様です。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。(94ページ)

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、[中断した作業を再開する]チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- "メモリースティック"やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

！ご注意
「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。(93ページ)

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックして表示された画面で、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[フォルダの選択]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリ時に作成する

!ご注意

- リカバリ時にパーティションを作成する場合は、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリディスクの作成やリカバリなどの操作が正常に行われない場合があります。

❑ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン－[コントロールパネル]－[システムとメンテナンス]－「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント

本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。)

4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリ時にパーティションを作成する

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。
リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行うこともできます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

4 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか？」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

5 ドロップダウンリストから、[数値入力（C ドライブとD ドライブに分割する）]を選択する。

6 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

!ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（77ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（79ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（93ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブートマネージャ」画面が表示されます。

3 矢印キーで「VAIO リカバリセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

4 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

5 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

6 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

7 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

8 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

9 データ消去するハードディスクを確認し［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［次へ］をクリックする。

10 再度、［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［消去開始］をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

11 消去終了の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（102ページ）

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」からも調べられます。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（124ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windowsのヘルプとサポート」をご覧ください。（125ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（125ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（125ページ）

3 サポートホームページで調べる

「サポートホームページで調べる」をご覧ください。(126ページ)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1 ~ 3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。(130ページ)

❑ バイオの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

(0120) 60-3399(フリーダイヤル)

(ロクゼロ　サンサンキュウキュウ)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

受付時間　**平日:9時~ 18時**
土曜、日曜、祝日:9時~ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(131ページ)が24時間ご利用いただけます。
詳しくは、「電話で問い合わせる」(130ページ)をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(141ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくある トラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

電源／起動(105ページ)

- 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯しないとき)
- 電源が入らない、または⏻(パワー)ボタンが効かない。(充電ランプがすばやく点滅している)
- 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- 「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示され、Windowsの準備ができない。
- 電源を入れてもWindowsが起動しない。
- 充電ランプの表示について知りたい。

パスワード(108ページ)

- Windowsパスワードを設定、変更、または削除したい。
- Windowsパスワードを忘れてしまった。
- BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

画面／ディスプレイ(109ページ)

- 画面に何も表示されない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画像が乱れる。
- 画面にドット欠損(輝点・滅点)がある。
- HDMI OUTコネクタにテレビまたは外部ディスプレイを接続したときに画像が表示されない。

文字入力／キーボード(111ページ)

- 文字の入力方法がわからない。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

タッチパッド(112ページ)

- タッチパッドが使えない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。
- Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

ハードディスク(114ページ)

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった。
- ハードディスクの空き容量を知りたい。
- ハードディスクから異音がする。
- リカバリ領域の容量を知りたい。

CD ／ DVD ／ BD(116ページ)

- ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

インターネット(116ページ)

- インターネットに接続できない。
- ワイヤレスLANが使えない。

地上デジタル放送(テレビチューナー搭載モデル)(117ページ)

- 地上デジタルのアンテナ受信設定ができない／放送を受信できない。
- 地上デジタルが映らない／画像が乱れている。
- デジタル放送の映像が映らない。
- ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる。
- チャンネルボタンで選局できない。
- デジタル放送のチャンネルが切り替わらない。
- 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。
- 検索をしたときに表示される番組数が少ない。
- 音声が出ない／音声がおかしい。
- 録画予約した番組が録画されない。
- メニューで選べない項目がある。
- 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される。
- 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される。
- 録画が途中で終わっている。
- 予約したのに録画されていない。
- 以前録画した番組コンテンツがなくなっている。
- 番組の詳細情報が表示されない。
- CM情報が表示されない。
- 店舗／商品情報が表示されない。
- 正常に再生できない。
- 再生画面に映像が表示されない。
- ダイジェスト再生やカタログビューができない。
- CM、店舗、商品の詳細情報をインターネットで検索できない。

FeliCa(121ページ)

- FeliCa機能が使えない。

内蔵カメラ(MOTION EYE)(122ページ)

- 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

エラーメッセージ(122ページ)

- BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- Operating System Not Found
- System Disabled
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。
- 予期しないエラーが発生しました

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「VAIO 電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」画面が表示されます。

2 ［Q&A集］をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯しないとき)

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。(21ページ)

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。(29ページ)

A バッテリの残量がまったく無い可能性があります。
バッテリの充電について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた] – [電源の管理／起動] – [バッテリの充電／表示の見かた] をクリックする。)

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。
ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻(パワー)ボタンが効かない。(充電ランプがすばやく点滅している)

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(21ページ)

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻(パワー)ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた] – [キーボード／タッチパッド] – [Windowsキー／ Fnキーを使う] をクリックする。)

A メモリモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。
サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリモジュール以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows Vistaは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ⏻ ボタンをクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [バッテリの充電／表示の見かた]をクリックする。）

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（21ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
システムに異常があります。本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずし、純正の新しいバッテリと交換してください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」 や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（96ページ）

A パスワードを3回間違えて入力すると、「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。
本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、(Num Lock)ランプや(Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

Q 「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示され、Windowsの準備ができない。

A 「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。
「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(91ページ)の手順に従って、リカバリを行ってください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows エラー回復処理」画面(黒い画面)が表示されます。
その場合は、「Windowsを通常起動する」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

A 「Windowsが起動しない場合」(87ページ)の手順に従って操作してください。

Q 充電ランプの表示について知りたい。

A バッテリの動作状態により、充電ランプの表示が異なります。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[バッテリの充電/表示の見かた]をクリックする。)

パスワード

Q Windowsパスワードを設定、変更、または削除したい。

A 詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(71ページ)をご覧ください。

Q Windowsパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q　画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［キーボード／タッチパッド］－［Windowsキー／ Fnキーを使う］をクリックする。）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［電源の管理／起動］－［電源オプションを変更する］をクリックする。）

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。
① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q　画面の色がきれいに表示されない。

A 画面の色数の設定が「最高（32ビット）」になっているか確認してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の解像度／色数を変更する］をクリックする。）

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
（スタート）ボタン－ ボタン－［シャットダウン］をクリックして電源を切り、本機の⏻（パワー）ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。画面の色補正設定を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［画面／ディスプレイ］－［画面の色補正を設定する］をクリックする。）

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスク マネージャの起動］をクリックする。（157ページ）
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

A Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［キーボード／タッチパッド］－［Windowsキー／ Fnキーを使う］をクリックする。）

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面にドット欠損（輝点・滅点）がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Q HDMI OUTコネクタにテレビまたは外部ディスプレイを接続したときに画像が表示されない。

A HDMIケーブルを接続し直してください。

A 著作権保護された映像は、HDCP規格非対応の外部ディスプレイでは表示できません。
HDCP規格に対応した外部ディスプレイを接続してください。

文字入力／キーボード

Q 文字の入力方法がわからない。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［できるWindows for VAIO］をクリックして表示される内容から、「文字を入力しよう」の各項目をご覧ください。）

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（157ページ）

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（157ページ）

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバの設定を変更してください。
なお、この操作は「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

!ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。
    ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
② [システムとメンテナンス]をクリックする。
③ [デバイス マネージャ]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「デバイス マネージャ」画面が表示されます。
④ [キーボード]をダブルクリックする。
⑤ [標準 PS/2 キーボード]（または[101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2]や[日本語 PS/2 キーボード（106/109）]）を右クリックして、[ドライバ ソフトウェアの更新]を選択する。
「ドライバ ソフトウェアの更新」画面が表示されます。
⑥ [コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します]をクリックする。
⑦ [コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します] をクリックする。
⑧ [互換性のあるハードウェアを表示]のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[標準 PS/2 101/102 キーボード]を選択して、[次へ]をクリックする。
ドライバの更新警告画面が表示された場合は[はい]をクリックします。
⑨ 「ドライバ ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されるので、[閉じる]をクリックする。
⑩ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
コンピュータが再起動します。再起動後に、キーボード配列が英語キーボードになります。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの設定をする]をクリックする。）

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。
それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの設定をする]をクリックする。）

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの設定をする]をクリックする。）

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A スマートアクションの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② 「ハードウェアとサウンド」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
③ [機能]タブをクリックする。
④ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。
⑤ [OK]をクリックする。

Q Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A Webアシストの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② 「ハードウェアとサウンド」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
③ [機能]タブをクリックする。
④ [Webアシスト機能を使用する]のチェックをはずす。
⑤ [OK]をクリックする。
設定が有効になります。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、画面右下の ボタン－[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。（88ページ）

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった。

A 削除したファイルが「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。
「ごみ箱」の中に削除したファイルが残っていないか確かめてください。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい。

A （スタート）ボタン－[コンピュータ]をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする。

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② [今すぐ最適化]をクリックする。
最適化するディスクの選択画面が表示された場合は、ディスクを選択して[OK]をクリックしてください。
最適化(デフラグ)が開始されます。

ディスククリーンアップについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[パソコン本体]－[ハードディスク]－[ハードディスクの空き容量が少なくなった。]をクリックする。)

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックする。
「ディスク 0」に、リカバリ領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント

1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。（167ページ）

A ディスクの入れかたが正しいか確認してください。

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブか確認してください。
本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。
- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのバイオ専用ドライブ

A 後からインストールした、ディスクの再生・書き込みソフトウェアをアンインストールしてください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度アンインストールしてご確認ください。アンインストールの方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

インターネット

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルやテレホンコードの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」（22ページ）をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［Q&A集］－［インターネット］で［インターネット接続］または［ホームページ／電子メール］をクリックする。）

Q ワイヤレスLANが使えない。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［Q&A集］－［パソコン本体］－［LAN ／ワイヤレスLAN］をクリックする。）

地上デジタル放送(テレビチューナー搭載モデル)

Q 地上デジタルのアンテナ受信設定ができない/放送を受信できない。

A 地上デジタルに対応したUHFアンテナにつないでください。

A アンテナ線をしっかりつないでください。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。
以下を確認してください。
- 一般のテレビに接続して受信できるか?
- 分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうか?

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。

Q 地上デジタルが映らない/画像が乱れている。

A アンテナ線をしっかりつないでください。

A 地上波アンテナの位置・方向・角度を調整してください。

A 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。

A 地上デジタルのチャンネルスキャンを行ってください。
- Ver.1.1の場合:
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]-[チャンネルスキャン]をクリックし、右側に表示された[初期スキャン]をクリックしてください。
- Ver.1.2の場合:
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、右側に表示された[初期スキャン]をクリックしてください。

Q デジタル放送の映像が映らない。

A B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。

A 放送日や時間を確認してください。

A 本機または接続しているテレビや外部ディスプレイの電源コードをしっかりつないでください。

A 長期間、コンセントやアンテナを抜いたままにしないでください。
視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。

A 外部モニタに出力する場合は、HDMIケーブルでテレビや外部ディスプレイと接続してください。

Q ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる。

A アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
アッテネーターの設定を有効にしてから、再度チャンネルスキャンを行ってください。

- Ver.1.1の場合：
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[機器情報]－[アンテナレベル]をクリックし、画面右側の[地上アッテネーターの設定]のチェックボックスにチェックを付けてから、[適用]をクリックしてください。その後、[受信設定]－[チャンネルスキャン]をクリックし、画面右側の[初期スキャン]をクリックしてください。
- Ver.1.2の場合：
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側の[地上アッテネーターの設定]のチェックボックスにチェックを付けてから、[適用]をクリックしてください。その後、同じ画面上の[初期スキャン]をクリックしてください。

A よく映らないチャンネルを映したまま、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの設定画面に表示されるアンテナレベルの数値を確認し、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

- Ver.1.1の場合：
アンテナレベルの表示を確認するには、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[機器情報]－[アンテナレベル]をクリックし、画面右側に表示された[アンテナレベルを表示]をクリックしてください。
- Ver.1.2の場合：
アンテナレベルの表示を確認するには、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された[アンテナレベルを表示]をクリックしてください。

Q チャンネルボタンで選局できない。

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動してください。
それでも選局できない場合は、チャンネルスキャンを行ってください。

A リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを設定してください。
チャンネル設定は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[視聴]－[チャンネル一覧]をクリックし、画面右側に表示された設定エリアで行ってください。

Q デジタル放送のチャンネルが切り替わらない。

A 録画実行中はチャンネルを切り換えられないことがあります。

Q 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。

A 地上デジタルでは、視聴中の放送局以外の番組情報を取得できないことがあります。
「番組情報自動取得」を設定しておけば、自動的に番組情報を取得します。

- Ver.1.1の場合：
番組情報自動取得は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[視聴]－[全般]をクリックし、画面右側に表示された「番組情報自動取得」で設定してください。
- Ver.1.2の場合：
番組情報自動取得は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[視聴]をクリックし、画面右側に表示された「番組情報自動取得」で設定してください。

A 番組表を表示しているときに、[更新]を選択してください。
番組情報を取得し直します。

Q 検索をしたときに表示される番組数が少ない。

A お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。
休止状態、電源オフ状態では、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

Q 音声が出ない／音声がおかしい。

A 消音の設定になっていないか確認してください。

A 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていないか確認してください。

A 音量を確認してください。

A BluetoothヘッドホンおよびスピーカーやUSBオーディオ機器から音声は出力されません。

Q 録画予約した番組が録画されない。

A 著作権が保護されている番組では、録画できない場合があります。

A ハードディスクの残量がなくなると、録画されない場合があります。

Q メニューで選べない項目がある。

A 灰色表示されている項目は選べません。
お使いの状態によっては、選べない場合があります。

Q 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される。

A B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください。
入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっているデジタル放送の放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

A B-CASカードが破損している可能性があります。
B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっているデジタル放送の放送局またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

Q 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される。

A 録画できない番組です。

Q 録画が途中で終わっている。

A ハードディスクの残量がなくなると、録画が途中で停止します。
不要なコンテンツを削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。

Q 予約したのに録画されていない。

A 次の場合は、予約録画は正常に行われないことがあります。

- 録画中に停電があった
- 録画開始時刻にコンピュータの電源が切れていた
- 録画中にコンピュータの電源を切るか、スリープまたは休止状態にしてしまった
- 予約を削除してしまった
- 予約時間の間近にコンピュータの時計を操作した
- コピー禁止番組を録画した
- コンピュータの日付や時刻が正しく設定されていない

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアやiCommandで正常に録画予約が行われても、ハードディスクの残量が少ない場合は録画が行われないことがあります。

Q 以前録画した番組コンテンツがなくなっている。

A 録画を予約した際に設定した自動削除禁止期間を過ぎたコンテンツは、保存先に指定されたドライブの空き容量が不足した場合に自動的に削除されます。

Q 番組の詳細情報が表示されない。

A 録画状況などにより、放送波から番組の詳細情報が取得できなかった場合などは表示されないことがあります。

Q CM情報が表示されない。

A 新しいCMなどは、すぐに情報が提供されていないことがあります。

Q 店舗／商品情報が表示されない。

A 新しい店舗や商品などは、すぐに情報が提供されていないことがあります。

A お住まいの地域によっては、店舗／商品情報が提供されない場合があります。

Q 正常に再生できない。

A ビデオ録画時に負荷が高くなりすぎたなど、録画時に問題があった可能性があります。

Q 再生画面に映像が表示されない。

A 「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使用中にコンピュータをスリープ状態にすると、スリープから復帰させた後は再生画面に映像が表示されないことがあります。
その場合は、再生画面を一度終了させ、再度起動してから再生し直してください。

Q ダイジェスト再生やカタログビューができない。

A ダイジェスト再生、カタログビューは、VAIO コンテンツ解析マネージャでコンテンツ解析が完了しないと利用することができません。
VAIO コンテンツ解析マネージャでのコンテンツ解析について詳しくは、VAIO コンテンツ解析マネージャのヘルプをご覧ください。

A ダイジェスト再生は、VAIO コンテンツ解析マネージャで設定されている番組に対応しています。
詳しくは、VAIO コンテンツ解析マネージャのヘルプをご覧ください。

Q CM、店舗、商品の詳細情報をインターネットで検索できない。

A インターネットの接続設定を確認してください。

FeliCa

Q FeliCa機能が使えない。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。
(オン)になっていない場合は、(オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。
または、(オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

A FeliCaカードの位置を確認してください。
本機の (FeliCaプラットフォームマーク)にあわせて置いてください。
それでも反応しない場合は、カードを数ミリ移動させるか、本機から数ミリ浮かせてください。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。
② (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[FeliCaポート]ー[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
③ 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。
FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）

Q 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

A 内蔵カメラ（MOTION EYE）または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードまたは休止状態に移行させないでください。

A 自動的にスリープモードまたは休止状態に移行してしまう場合は、電源プランの設定を変更してください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。）

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.

A 「電源／起動」（107ページ）をご覧ください。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源／起動」（107ページ）をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源／起動」（107ページ）をご覧ください。

Q Operating System Not Found

A 「電源／起動」（107ページ）をご覧ください。

Q System Disabled

A 「電源／起動」（107ページ）をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A 「電源／起動」（107ページ）をご覧ください。

Q 予期しないエラーが発生しました

A 「電源／起動」（108ページ）をご覧ください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

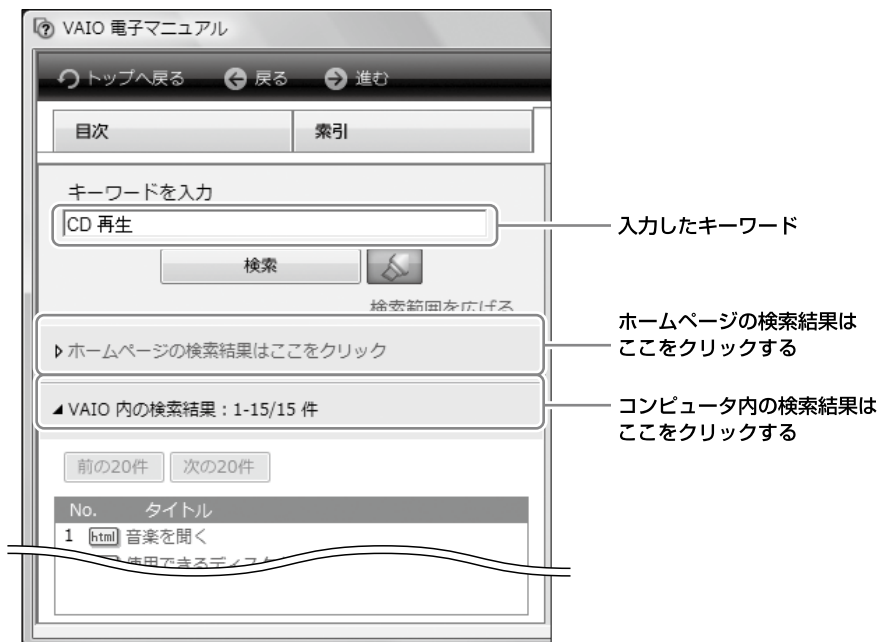
「VAIO 電子マニュアル」では、取扱説明書（本書）より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はサポートホームページからも情報を検索できます。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード（単語）を入力し、［検索］をクリックする。

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
（例：CD　再生）

［次の20件］をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
［前の20件］をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
サポートホームページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「VAIO 電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

サポートホームページで調べる

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機をインターネットに接続してご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決方法や活用方法、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

！ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の内容は、2008年6月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは127ページ～ 129ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

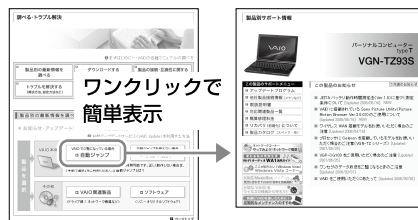
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［1 トップページ（トラブル解決・使い方情報）］をクリックして表示します。

＜調べる・トラブル解決＞

バイオに関する疑問やトラブルを解決したいかたはこちらをご利用ください。

製品別サポート情報、Q&A検索、バイオにつながる製品の接続情報、付属ソフトウェアのお問い合わせ先、OS（Windows）に関する情報など、お困りの問題を解決するさまざまな情報を提供しています。

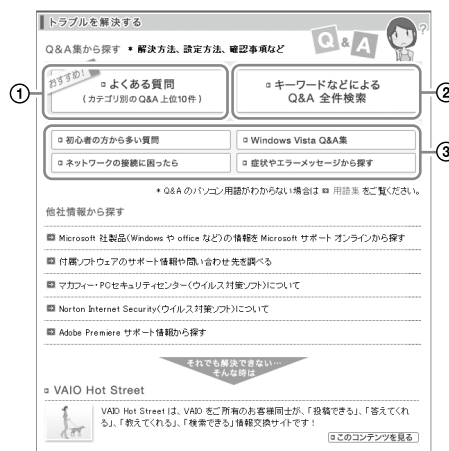
❑ 製品別サポート情報（お客様のバイオの専用サポートページ）

バイオの製品ごとに専用ページを用意しています。お客様のバイオに関する「お知らせ」「Q&A検索」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」など最新サポート情報を確認できます。

❑ Q&A検索

バイオに関するトラブル解決方法や操作・設定方法など、知りたい情報を以下の方法で検索できます。

① よくある質問から探す
カテゴリ別に分類されています。

② キーワードや文章を入力して検索する。

③ その他
Windows Vista Q&A集　など

＜学ぶ・楽しむ・使い方＞

バイオをより活用したり楽しみたい、使いかたを知りたいというかたはこちらをご利用ください。

バイオならではの活用方法や知っておきたいお役立ち情報など、バイオをさらに快適に楽しむための情報を提供しています。

❑ VAIOでできること

VAIOでできること別に、活用方法をわかりやすくご紹介しています。

例）

- Windows（OS）の基本操作や活用方法
- 音楽を楽しむ
- ネットワークを楽しむ
- メンテナンス／バックアップ／セキュリティ
- ディスクを作る
- テレビを楽しむ
- インターネットを楽しむ
- 動画・映像編集を楽しむ
- 写真を楽しむ
- 年賀状（はがき）をつくる

など

＜修理／その他サービス＞

❑ 修理関連のご案内

故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗状況の確認など、修理関連の情報を提供しています。

❑ その他サービスメニュー

バイオの設置・設定サービスや延長保証、点検サービスなど、各種有料サービスをご案内しています。
有料サービスの内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（139ページ）をご覧ください。

<お問い合わせ>

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
「VAIOコールバック予約サービス」（131ページ）や「VAIOリモートサービス」（132ページ）もこちらからご利用いただけます。

<初心者コーナー>

初心者のかたから実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者のかたが知りたい情報をイラストなどを交えて分かりやすい言葉でご紹介しています。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［2 初心者コーナー］をクリックして表示することもできます。

！ご注意

実際の画面とは異なる場合があります。

<おすすめサポート情報>

特におすすめのサポートコンテンツをご紹介しています。（掲載コンテンツは随時変更します。）

例）バックアップ講座

VAIOに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。大切なデータの保護にお役立てください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）

携帯電話用のVAIOサポートサイトで最新のサポート情報を提供しています。特にウイルス情報などを調べたいときや、バイオの修理状況を確認したいときなどに便利です。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
  詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（136ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - What's New!
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - 新着Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
  - Q&A・用語集検索
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Street モバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザの情報交換サイト）

バイオをお持ちのお客様同士で、よりバイオを活用するための情報を交換できるサイトです。
皆に教えてあげたい情報を投稿したり、わからないことを質問したり、質問に回答したりすることができます。
見たい投稿を閲覧するだけのご利用も可能です。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［3 VAIO Hot Street（情報投稿サイト）］をクリックして表示することもできます。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。

人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：平日　10時 ～ 18時
（祝日、年末年始を除く）

！ご注意
バイオの使いかたのお問い合わせや修理の受付については、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」「修理相談窓口」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、バイオに関する技術的な質問を電話で承っております。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOカスタマーリンクホームページで、バイオの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。
詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（124ページ）、「サポートホームページで調べる」（126ページ）をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（141ページ）をご覧ください。
それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ VAIOカスタマー登録をご確認ください

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
また、発信者番号通知にて、カスタマー登録の際に登録した電話番号でお電話していただくと、よりスムーズにオペレーターにつながります。
VAIOカスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録する」（42ページ）をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください（② ～ ④は該当する場合のみ）

① 本機の型名（保証書または「各部の説明」のIDラベルに記載されています。）
② 本機に接続している周辺機器名（メーカー名と型名）
③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ
④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：(0120) 60-3399 (フリーダイヤル)

(ロクゼロ　サンサンキュウキュウ)

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間　平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。

ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(131ページ)が24時間ご利用いただけます。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント

音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

お問い合わせの際にご利用ください

- VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況
- VAIOコールバック予約サービス
- VAIOリモートサービス

各項目の詳しくは、以降をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(使い方相談)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 使いかたなどの「技術的なお問い合わせ」をクリック → 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(使い方相談)」をクリック

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただくと、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク(コールセンター)からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

予約受付：VAIOカスタマーリンクホームページからご予約可能
回答時間：365日24時間

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOコールバック予約サービス」をクリック

!ご注意

- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 本サービスは、バイオ本体やバイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

ヒント

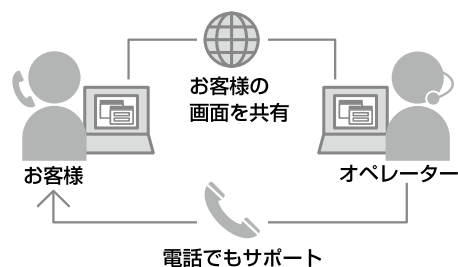
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(126ページ)をご覧ください。

VAIOリモートサービス

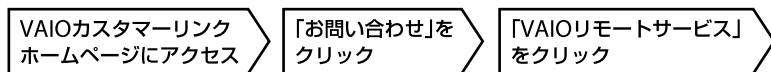
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。
難しいパソコン用語は不要なので、「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」というかたは、ぜひお試しください。

!ご注意

- 本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOリモートサービス」をクリック

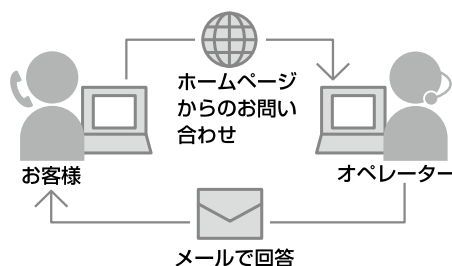
ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(126ページ)をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる（テクニカルWEBサポート）

（http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html）

「テクニカルWEBサポート」は、バイオに関する使いかたなどの技術的な質問をホームページ内の問い合わせフォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです。

ヒント
本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「メールで相談する」をクリック

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（126ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。
なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040

!ご注意
一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOカスタマーリンクホームページ」などで、お使いのバイオの症状に合うものがないかご確認ください。詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(124ページ)、「サポートホームページで調べる」(126ページ)をご覧ください。
- VAIO Updateを利用して、お使いのバイオが最新の状態かご確認ください。バイオをアップデート(最新状態に)することにより、お客様のお困りの症状を解決できることがあります。VAIO Updateについて詳しくは、「重要情報を自動的に入手する」(44ページ)をご確認ください。

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページの「故障かな?と思ったら」(http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/mistake.html)でも故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

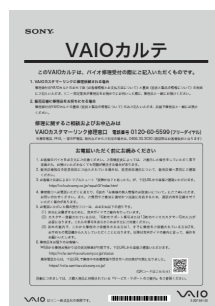
❏ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/precall.html)またはFAX情報サービス(133ページ)より入手できます。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❏ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様への返却をしておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたバイオの保証書規定は日本国内のみ有効です。
  海外修理サービスとして「VAIO Overseas Service」をご用意しています。詳しくは、「各種有料サービスのご案内」(139ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」（76ページ）をご覧ください。

！ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 概算修理料金について

ホームページで、製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況（修理相談）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/konzatu.html

修理相談窓口の混雑状況をVAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合があります。ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

① 修理窓口に電話をかける

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

（365日年中無休）

※ 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

！ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2008年6月現在）

② 修理の受付

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

！ご注意

- 上記は2008年6月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業、修理後のお届けは、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」(136ページ)をご覧ください。

お届け／お支払い(有料の場合のみ)

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い(有料のみ)

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望されたかたは、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

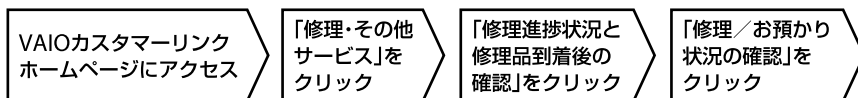
- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOカスタマーリンクホームページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOカスタマーリンクホームページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「修理・その他サービス」をクリック → 「修理進捗状況と修理品到着後の確認」をクリック → 「修理／お預かり状況の確認」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(126ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートサイト）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

！ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jpからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。

- URLからアクセス
  https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス
  （バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（134ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、マイブックマークやメモなど、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

（2008年5月現在）

❏ My VAIO Pass（無償）

VAIOカスタマー登録（42ページ）をしていただいたお客様に無料で提供する優待プログラムです。
お得な優待キャンペーンや、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。

❏ My VAIO Passプレミアム（有償）

ワンランク上の優待プログラム「My VAIO Passプレミアム」なら、ソニーポイントのプレゼント率がさらにアップ。
また、プレミアムメンバー限定の無料コンテンツや優待販売、プレゼントキャンペーンなども随時ご提供します。

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループ共通のポイントプログラムです。貯めたポイントは、ソニーグループの多彩な商品やサービスの購入などにご利用いただけます。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはバイオオーナー向けサイトMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

!ご注意
2008年6月現在の情報になります。

❏ VAIO延長保証サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

ベーシック
1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド
ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や火災・水災等の事故についてもご購入から3年間無料修理します。

!ご注意
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- バイオご購入日から30日以内にお申込ください。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外です。

❏ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/
海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。
また、その際お電話でのサポートも行います。

!ご注意
- 一部の機種はサービス対象外です。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- バイオご購入日から60日以内にお申込ください。

❏ VAIO設置設定サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。
各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
　　　　　　（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　：10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/
最新版のセキュリティソフトを月額367円（税込み）からご用意していますので気軽にご利用いただけます。
年次更新の手続きも必要なく、いつでも安心です。

❑ VAIOメール

http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/
バイオをお持ちのかたに「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスを提供します。
プロバイダを変更しても、同じメールアドレスを使えます。Webメール機能で携帯電話や外出先からもご利用いただけます。

❑ VAIOソフトウェアセレクション

http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/
VAIOカスタマー登録をしていただいたお客様にお得な価格でご購入いただけるソフトウェアのダウンロード販売です。
バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。

❑ セミナー・個人レッスン

http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

セミナー

バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局
電話番号　：（0570）075-111（一般及び携帯電話）
　　　　　　（03）5789-3493（PHS・IP電話）
受付時間　：10：00 ～ 18：00

個人レッスン

バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。
お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

❑ 部品の販売について

http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/
バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）
（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

- ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。
- ホームページからご注文いただく場合は、VAIOカスタマー登録が必要です。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/
バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/
ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートCD-ROMを有料で送付するサービスです。

❑ リカバリディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/purpose/repair/
VAIOを再セットアップするときに必要なディスクを有料で送付するサービスです。
ご提供するリカバリディスクは、VAIOにプリインストールされている「リカバリ作成ツール」からお客様ご自身で作成することができるディスクと同等のものです。

！ご注意

お申込みには、該当製品のカスタマー登録が必要になります。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/
お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお応えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみ）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にホームページをご確認ください。

❑ VAIOクリニック（点検サービス）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/clinic/
ソニー品質基準に基づいた各種点検に加え、普段手入れのできない内部のお掃除やキーボード交換など、お客さまのVAIOを専門のスタッフが1台1台丁寧にクリニックします。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「VAIO電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］の順にクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 「VAIO 電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。

!ご注意
- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ **Windows Vista(R) Business with Service Pack 1 正規版**
VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows Vista(R) Home Premium with Service Pack 1 正規版**
VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows Vista(R) Home Basic with Service Pack 1 正規版**
VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ **Windows(R) Media Center**
VAIOカスタマーリンク

❑ **Windows Media(R) Player**
VAIOカスタマーリンク

❑ **WinDVD BD for VAIO**
VAIOカスタマーリンク

❑ **WinDVD for VAIO**
VAIOカスタマーリンク

テレビ

❑ **Giga Pocket Digital**
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ VAIO Movie Story

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Exporter

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Premiere(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート

電話番号：(0570) 023623（ナビダイヤル）

または(03) 5304-2400

アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：

1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。

操作方法やその他に関するお問い合わせ：

有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）

※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。

サポート対象製品はホームページをご確認ください。

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分

（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ VAIO Edit Components

VAIOカスタマーリンク

❑ DigiOnSound(R) L.E. for VAIO（HDV対応版）

株式会社デジオン

電子メール：下記のURLのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

ホームページ：

https://www.digion.com/support/dgon_oemsupport_form.htm

※ E-mailでのサポートサービスのご提供となります。

BD ／ DVD作成

❑ Click to Disc

VAIOカスタマーリンク

❑ Click to Disc Editor

VAIOカスタマーリンク

❑ Roxio Easy Media Creator

Roxio サポートセンター

電話番号：(0570) 00-6940（ナビダイヤル）

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

（祝祭日、ソニックソルーションズ株式会社特別休業日は除く）

※ Roxioサポートセンターに電話でお問い合わせ頂いた場合、お客様がご利用されている電話回線・端末の種類によって通話料のご負担額が異なります。

電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。

ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ SonicStage CP

VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox

VAIOカスタマーリンク

写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ PMB(Picture Motion Browser)

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：(0570) 023623(ナビダイヤル)
または(03) 5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
(無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。)
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

ホームネットワーク

❑ VAIO Media plus

VAIOカスタマーリンク

❑ branco player

ホームページ：http://www.branco.tv/

コミュニケーション

❑ Magic-i(TM) Visual Effects

アークソフト　カスタマーサポートセンター
電話番号：(0570) 060655(ナビダイヤル)
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時
(年末年始、祝日除く)
電子メール：support@arcsoft.jp
ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ WebCam Companion

アークソフト　カスタマーサポートセンター
電話番号：(0570) 060655(ナビダイヤル)
受付時間：月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時
(年末年始、祝日除く)
電子メール：support@arcsoft.jp
ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ VAIO Topic Visualizer

VAIOカスタマーリンク

❑ Skype

http://www.skype.co.jp/

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※ 上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
(Yahoo!ツールバー・ヘルプページ)

セキュリティー

❑ マカフィー・PCセキュリティセンター

1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
製品のインストールに関するお問合せ
マカフィー製品の使い方、設定方法
マカフィー製品に絡むパソコンの障害
2　マカフィー･カスタマーオペレーションセンター
ユーザ登録方法
契約情報の確認、更新
キャンペーンに関するご相談

電話番号：
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン･光電話の方はこちらへ）
2　マカフィー･カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792（IPフォン･光電話の方はこちらへ）
* いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：
1　マカフィー・テクニカルサポートセンター
年中無休　9時〜 21時
2　マカフィー･カスタマーオペレーションセンター
月曜〜金曜　9時〜 17時（祝日、祭日は除く）

電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp

ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

❑ Spy Sweeper（90日期間限定版）

電話番号：（0570）055250
受付時間：月曜〜金曜：10時〜 12時、13時〜 19時
（土曜、日曜、祝日、年末年始休業（12/29 〜翌1/3）、夏期休業3日を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
ホームページ：http://www.webroot.co.jp/

❑ i-フィルター 5.0（30日期間限定版）

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話番号：月曜〜金曜：（03）3580-5678
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：
（0570）00-1334
受付時間：月曜〜金曜：10時〜 18時
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：
10時〜 20時
電子メール：p-support@daj.co.jp
ホームページ：
よくある質問：http://www.daj.jp/faq/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム：
http://www.daj.jp/ask/

ISPサインアップ

❑ So-netサービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から）　札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から）　仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から）　東京（03）3513-6200
（携帯PHS・IP電話から）　名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から）　大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から）　広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から）　福岡（092）624-3910
※ お客さまのご要望に正確かつ迅速に対応するため、通話内容を録音させていただいております。対応終了後、消去いたします。
ファックス番号：（03）5228-1586
受付時間：9時〜 21時（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ 「ホットスポット」

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜〜金曜：10時〜 18時
（年末年始、祝日を除く）
お問い合わせページ：
http://www.hotspot.ne.jp/inquiry/index.html

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：

東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ 筆ぐるめ

富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター

電話番号：（03）5600-2551

受付時間：9時30分～ 12時、13時～ 17時

（土曜、日曜、祝日、および富士ソフト株式会社休業日を除く）

※ただし、11/1 ～ 12/30の間は無休サポート

ファックス番号：（03）3634-1322

電子メール：users@fsi.co.jp

ホームページ：http://info.fsi.co.jp/fgw/

❑ Adobe(R) Acrobat(R) Standard

アドビ システムズ　テクニカルサポート

電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）

または（03）5304-2400

アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：

1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。

操作方法やその他に関するお問い合わせ：

有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）

※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。

サポート対象製品はホームページをご確認ください。

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分

（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ ATOK for Windows

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NAVITIME 乗換案内ガジェット

株式会社ナビタイムジャパン

電話番号：（03）3526-0712

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

（年末年始、祝日を除く）

ファックス番号：（03）3526-0717

電子メール：pc-service@navitime.co.jp

ホームページ：http://www.navitime.co.jp/

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ：

http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ebi.BookReader（イービーアイ ブックリーダ）
株式会社イーブック イニシアティブ ジャパン
電子メール：support@ebookjapan.co.jp
ホームページ：
http://www.ebookjapan.jp/shop/support/index.asp

❑ **一太郎ビューア**
一太郎ビューアのサポートサービスは行っておりません。一太郎ビューアの最新情報につきましては、下記URLをご確認ください。
ホームページ：
https://www.ichitaro.com/viewer/download.html

❑ **ジャストホームEX2（イーエックスツー）**
ジャストシステムサポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

ゲーム・学習

❑ **IBM（アイ・ビー・エム） ホームページ・ビルダー 12（30日間体験版）**
ダイヤルIBM
電話番号：
フリーダイヤル（0120）04-1992
※ フリーダイヤル（0120）をご利用いただけないお客さまは、（03）6220-8002をご利用ください。
（通話料金はお客さまのご負担となります。）
受付時間：
9時～ 18時（土曜、日曜、祝日、12月30日～ 1月3日を除く）
ホームページ：
http://www.ibm.com/jp/contact/info/dialibm/

❑ **タイピング競馬 体験版**
株式会社アンバランス　ユーザーサポート
電話番号：（03）5283-3625
受付時間：月曜～金曜：13時～ 18時（祝日を除く）
ファックス番号：（03）5283-3665
電子メール：support@unbalance.co.jp
ホームページ：http://www.unbalance.co.jp/

❑ **えいご漬け 改訂版（体験版）**
プラト株式会社
電話番号：（03）3456-3803
受付時間：月曜～金曜：10時～ 19時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）3456-3804
電子メール：support@plato-web.com
ホームページ：http://www.plato-web.com/

FeliCa（フェリカ）

❑ **かざそうFeliCa（フェリカ）**
VAIOカスタマーリンク

❑ **Edy Viewer（エディ ビューワー）**
Edy救急ダイヤル
電話番号：（0570）081-999（ナビダイヤル）
（03）6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
（1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ **SFCard Viewer 2（エスエフカード ビューア）**
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ **スクリーンセーバーロック2**
ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録 2

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO（フォー バイオ）

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NFRM PC Viewer（エヌエフアールエムピーシー ビューワー）

NFRM公式Webサイト

http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCa（フェリカ）ブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号：

東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160

受付時間：

月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時

（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール・バンドル用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ VAIO（バイオ） の設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO（バイオ） ランチャー

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Smart Network（バイオ スマート ネットワーク）

VAIOカスタマーリンク

❑ 「ホットスポット」自動ログインツール

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号：（0120）815244

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

（年末年始、祝日を除く）

お問い合わせページ：

http://www.hotspot.ne.jp/inquiry/index.html

❑ 「ホットスポット」自動セットアップツール

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号：（0120）815244

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

（年末年始、祝日を除く）

お問い合わせページ：

http://www.hotspot.ne.jp/inquiry/index.html

サポート・ヘルプ

❑ **VAIO ナビ**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO 電子マニュアル**

VAIOカスタマーリンク

❑ **できるWindows Vista for VAIO**

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ **VAIO ハードウェア診断ツール**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO Update**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO リカバリセンター**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO データリストアツール**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO データレスキューツール**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO データ消去ツール**

VAIOカスタマーリンク

その他

❑ **VAIO オンラインカスタマー登録**

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体正面

1 **内蔵マイク**

2 **内蔵カメラ（MOTION EYE）ランプ**
内蔵カメラ（MOTION EYE）起動中に点灯します。

3 **内蔵カメラ（MOTION EYE）（122、163ページ）**
「Skype」などのソフトウェアを使って、テレビ電話などをすることができます。

4 **液晶ディスプレイ（109、160ページ）**

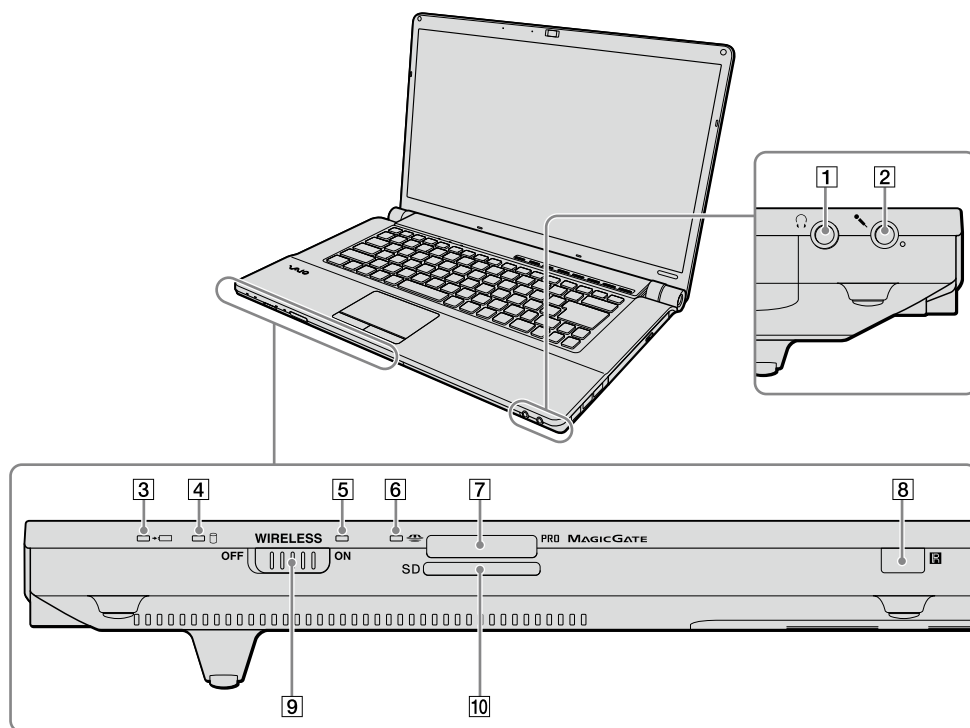
5 **内蔵スピーカー**

6 **IDラベル**
型名が記載されています。

7 **キーボード（111、157ページ）**

8 **FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）（121ページ）**
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。
FeliCaについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［FeliCa］をクリックする。）

9 **タッチパッド（112ページ）**
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

10 **左／右ボタン**
マウスの左／右ボタンに相当します。

1 ∩（ヘッドホン）コネクタ
スピーカーやヘッドホンなどをつなぎます。

2 （マイク）コネクタ（ステレオ対応）
マイクをつなぎます。
ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右下に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

3 （充電）ランプ
バッテリの充電状態をお知らせします。

4 （ディスク）アクセスランプ
CD ／ DVDなどのディスクやハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

5 WIRELESSランプ
ワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。

ヒント
複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、ひとつ以上のワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。
なお、WIRELESSスイッチが「ON」になっていても、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスが有効になっていない場合、WIRELESSランプは点灯しません。

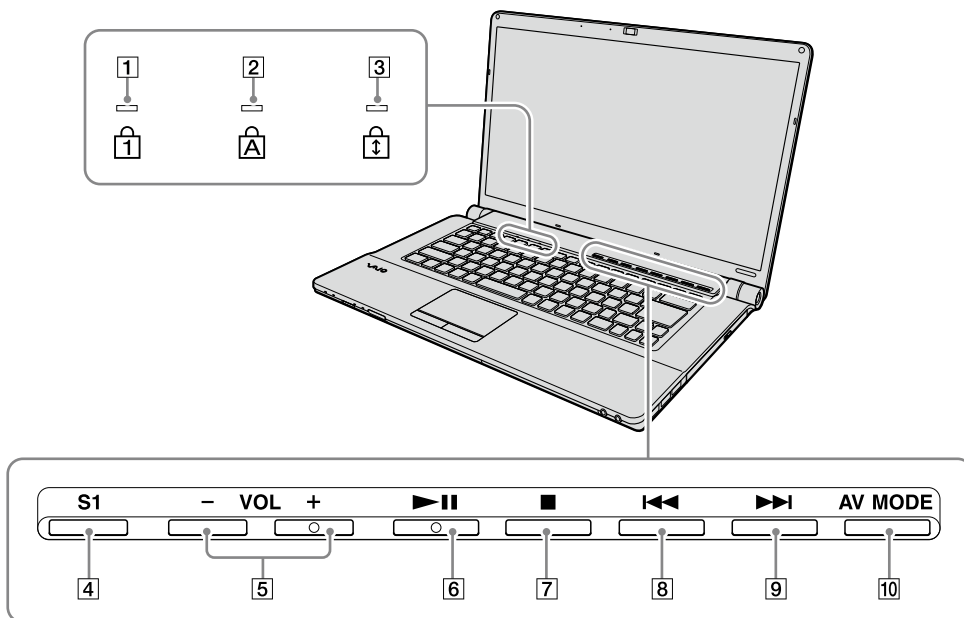
6 メモリーカードアクセスランプ
"メモリースティック" やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

7 メモリースティックスロット
"メモリースティック"を挿入します。
"メモリースティック デュオ"もそのままお使いになれます。

8 リモコン受光部
（テレビチューナー搭載モデルのみ）
リモコンの信号を受けます。

9 WIRELESSスイッチ
ワイヤレス機能の電源をオン／オフします。

ヒント
複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESSスイッチを「ON」にし、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスを有効にする必要があります。

10 SDメモリーカードスロット
SDメモリーカードを挿入します。

1 （Num Lock）ランプ（157ページ）
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

2 （Caps Lock）ランプ（157ページ）
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

3 （Scroll Lock）ランプ（157ページ）
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

4 S1ボタン
お買い上げ時の設定では、テレビチューナー搭載モデルはS1ボタンを押すと「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを起動します。
S1ボタンに割り当てられている操作を変更することもできます。

ヒント
テレビチューナーが搭載されていないモデルをお使いの場合は、「Dolby Control Center」ソフトウェアを起動します。

5 VOL（ボリューム）ボタン
スピーカーやヘッドホンなどの音量を調節します。
－ボタンと区別がしやすいように、＋ボタンに突起がついています。

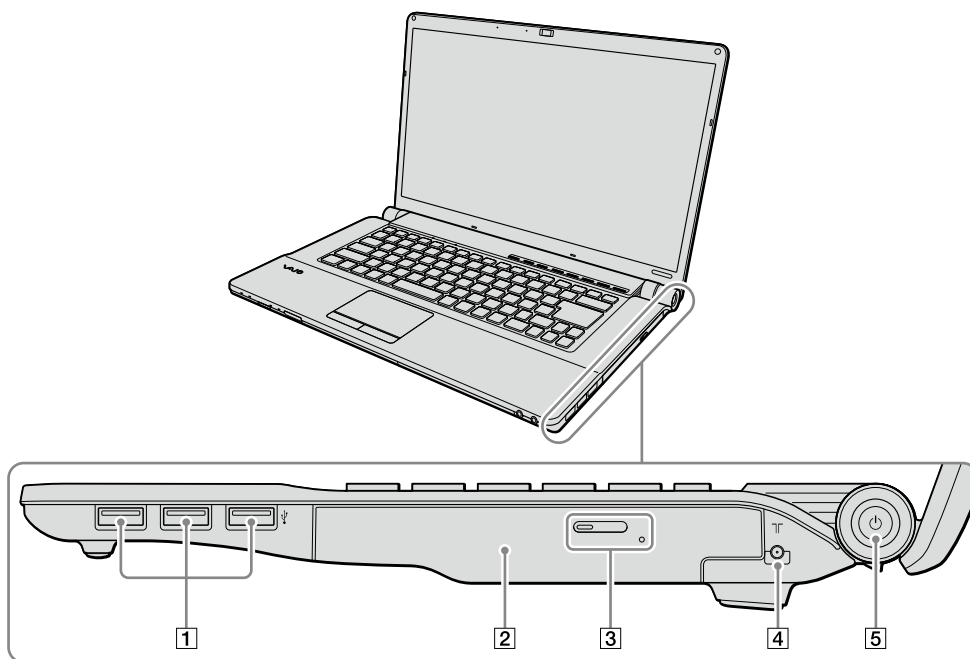
6 ►II（再生／一時停止）ボタン
DVDなどの映像やCDなどの音楽の再生／一時停止をします。

7 ■（停止）ボタン
DVDなどの映像やCDなどの音楽の再生を停止します。

8 I◄◄（前）ボタン
DVDなどの映像再生中にチャプターや映像を戻し、CDなどの音楽再生中に曲を戻します。

9 ►►I（次）ボタン
DVDなどの映像再生中にチャプターや映像を進め、CDなどの音楽再生中に曲を進めます。

10 AVモードボタン
VAIO ランチャーを起動します。
長押しして「VAIO ランチャー設定」画面を表示し、VAIO ランチャーに表示するソフトウェアについて設定することもできます。

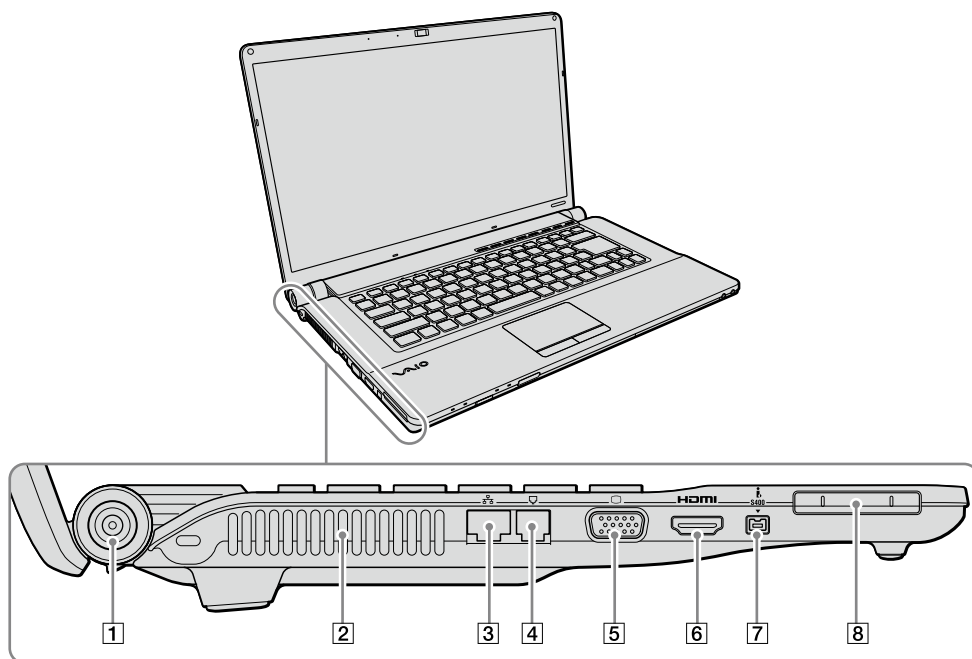
本体右側面

1 ψ(USB)コネクタ
USB規格に対応した機器をつなぎます。

2 **ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)またはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブまたはDVDスーパーマルチドライブ**
以降、ドライブと略すことがあります。

3 **ドライブ アクセスランプ/ドライブ イジェクトボタン/マニュアルイジェクト穴**

4 **Ｔ(アンテナ)コネクタ(28ページ)**
(テレビチューナー搭載モデルのみ)
アンテナを接続し、本機でデジタル放送を見ることができます。

5 **⏻(パワー)ボタン/⏻(パワー)ランプ**
電源が入ると点灯(グリーン)します。スリープモード時には点滅(オレンジ)します。

本体左側面

1 ⊖-Ⓒ-⊕ DC IN 19.5V コネクタ（29ページ）
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

2 排気口

3 LANコネクタ（22ページ）
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

4 (モジュラジャック)（23ページ）
電話回線をつなぎます。

5 (モニタ)コネクタ
外部ディスプレイやプロジェクタをつなぎます。

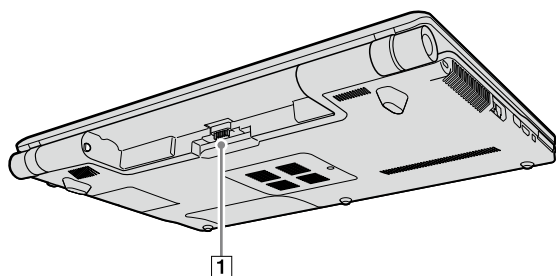
6 HDMI OUTコネクタ
HDMI入力端子のあるテレビや外部ディスプレイをつなぎます。

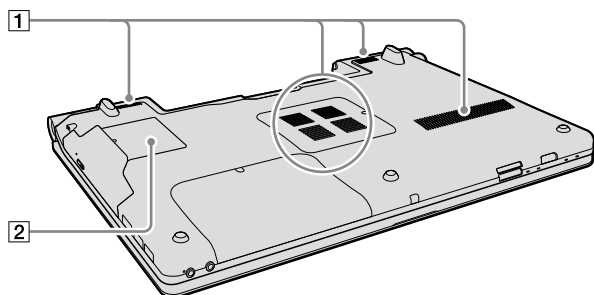
7 S400(i.LINK)コネクタ
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

8 ExpressCard（エクスプレスカード）スロット（162ページ）
本機は34 mmサイズのExpressCard モジュールに対応しています。

(モニタ)コネクタとHDMI OUTコネクタの制限事項

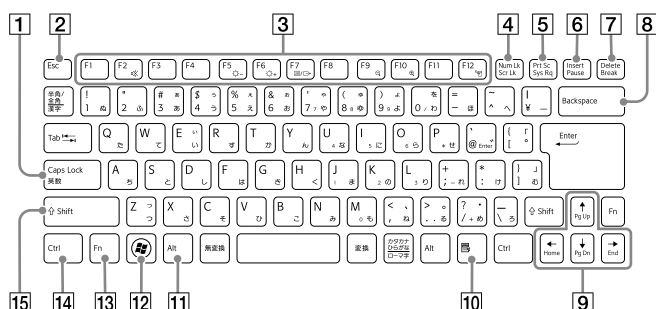
本機で (モニタ)コネクタとHDMI OUTコネクタを同時に使うことはできません。

本体後面

1 バッテリコネクタ

本体底面

1 **吸気口**

2 B-CASカードカバー（25ページ）
（テレビチューナー搭載モデルのみ）

キーボードの各部名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 Caps Lock(キャプスロック)キー
Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの左上にある(Caps Lock)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

2 Esc(エスケープ)キー
設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 ファンクションキー
使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

4 Num Lk(ナムロック)キー／ Scr Lk(スクロールロック)キー
■Num Lkキーとして使用する
テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの左上にある(Num Lock)ランプが点灯します。もう一度Num Lkキーを押すと、消灯します。
■Scr Lkキーとして使用する
使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの左上にある(Scroll Lock)ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと消灯します。

5 Prt Sc(プリントスクリーン)キー
デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

6 Insert(インサート)キー
文字を挿入するか、上書きするかを切り替えます。

7 Delete(デリート)キー
カーソルの右側の文字を消します。

8 Backspace(バックスペース)キー
カーソルの左側の文字を消します。

9 矢印キー
カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 アプリケーションキー
タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

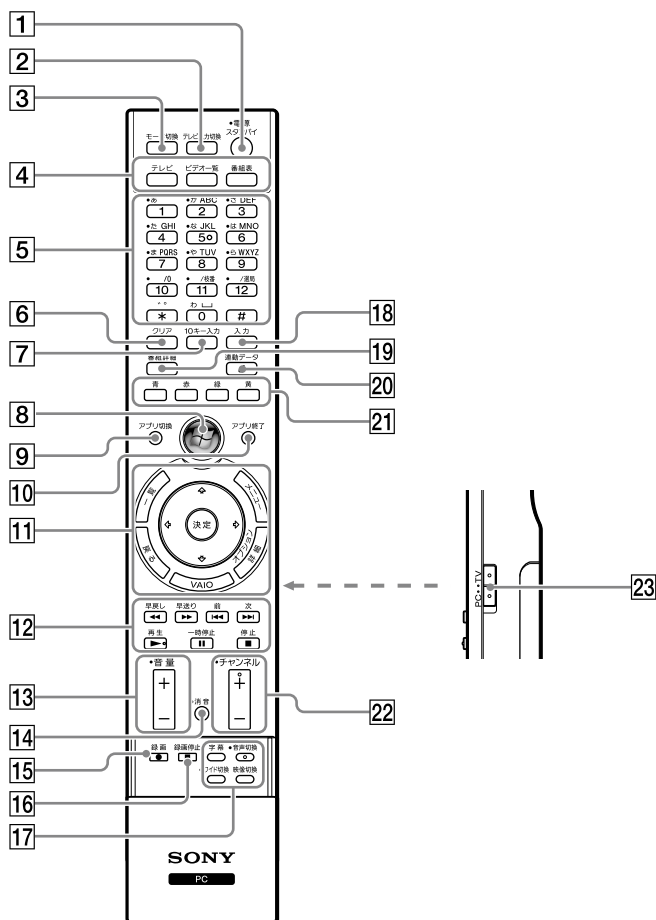
11 Alt(オルト)キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

12 Windows(ウィンドウズ)キー
Windowsのスタートメニューが表示されます。

13 Fn(エフエヌ)キー
キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

14 Ctrl(コントロール)キー
文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

15 Shift(シフト)キー
文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

リモコンの各部名称（テレビチューナー搭載モデル）

1 **電源／スタンバイボタン**
本機の動作中に押すと、スリープモードになります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

!ご注意
次の場合は、スリープモードには入れません。
- 録画中
- DVDなどの作成中
- 録画予約処理中（予約録画開始前など）
- リモート録画予約の通信中（リモート録画予約機能を設定している場合）

2 **テレビ入力切換ボタン**
テレビの外部入力を切り換えます。

3 **モード切換ボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使っているときに、画面のマウスモードとリモコンモードを切り換えます。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 **画面切り換えボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアの、テレビ／ビデオ一覧／番組表画面を表示します。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

5 **チャンネル数字／文字入力ボタン**
チャンネルを選択したり、文字を入力するときに使います。
5ボタンに突起が付いています。

ヒント
お使いのソフトウェアによっては、チャンネル数字ボタンの割り当てを変更できます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

!ご注意
録画中は、チャンネルを切り換えることはできません。

6 **クリアボタン**
文字入力時に文字を消去したい場合に使います。

7 **10キー入力ボタン**
テレビチューナーを接続しているときに、ダイレクト選局(3桁入力)でチャンネルを切り換えることができます。

8 **Windowsボタン**
Windows Media Centerを起動します。

9 **アプリ切換ボタン**
手前に表示されているソフトウェアを他のソフトウェアに切り換えたい場合に使います。

10 **アプリ終了ボタン**
手前に表示しているソフトウェアを終了します。「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを終了する場合などに使います。

11 **操作ボタンA**
- **一覧ボタン**
「Giga Pocket Digital」ソフトウェアを使っているときに、チャンネルやコンテンツの一覧を表示します。操作について詳しくは、「Giga Pocket Digital」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- **戻るボタン**
「戻る」が選択状態になるか、ひとつ前の画面に戻ります。
- **VAIOボタン**
VAIOランチャーを起動します。
- **オプション/詳細ボタン**
カーソルを合わせた対象のプロパティなどを表示します。
- **メニューボタン**
メニューを表示したり非表示にしたりします。
- **上下左右ボタン**
画面上の選択範囲を移動します。
- **決定ボタン**
選択されている項目を決定します。

12 **操作ボタンB**
- **早戻しボタン**
早戻しします。
- **早送りボタン**
早送りします。
- **前ボタン**
再生時に前のチャプターに戻ります。
- **次ボタン**
再生時に次のチャプターに進みます。
- **再生ボタン**
録画した番組を再生します。
ボタンに突起が付いています。
- **一時停止ボタン**
再生を一時停止します。
- **停止ボタン**
再生を停止します。

13 **音量ボタン**
音量を調節します。

!ご注意

ディスプレイやスピーカーで調節した音量以上の大きさにはなりません。

14 **消音ボタン**
一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

15 **録画ボタン**
テレビ番組の録画を開始します。

16 **録画停止ボタン**
録画を停止します。

17 **操作ボタンC**
- **字幕ボタン**
デジタル放送の字幕を表示します。
- **音声切換ボタン**
複数の音声がある番組を見ているときに音声を切り換えることができます。
ボタンに突起が付いています。
- **ワイド切換ボタン**
デジタル放送の画面表示を、ノーマル/フル/ズームの順で切り換えることができます。
- **映像切換ボタン**
スポーツ番組のアングル別映像など、複数の映像がある番組を見ているときは、映像を切り換えることができます。

18 **入力ボタン**
Windows Media Centerでキーワード検索などを行う場合に、文字を入力したあと決定するときに使います。

19 **番組詳細ボタン**
視聴中の番組の番組名や出演者などの情報を表示します。

20 **連動データボタン**
データ放送(番組に関連した情報や地域密着の情報など)を表示します。

21 **カラーボタン**
データ放送や双方向サービスなどを利用する場合に使います。

22 **チャンネルボタン**
チャンネルを切り換えるときに使います。
+ボタンに突起が付いています。

23 **PC / TVスイッチ**
本機の操作を行う場合はスイッチを「PC」に、市販のテレビを操作する場合は「TV」に切り換えます。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

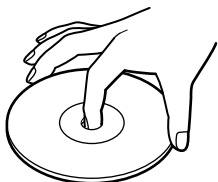
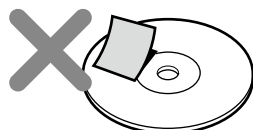
本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10 ℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクを取りはずさないでください。

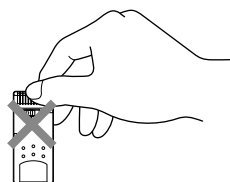
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。
誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリーカードアクセスランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

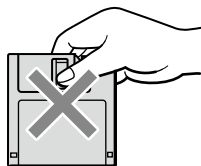
“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
  メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用すると動作しない場合があります。メモリースティック マイクロ スタンダードサイズアダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

メモリカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリカードをフォーマット（初期化）してからご使用ください。
お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリカードをフォーマットしてからご使用ください。
フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- スロットの中に異物を入れないでください。
- スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
    ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧下さい。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHzワイヤレスLAN機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。（IEEE 802.11a/b/g/n搭載モデル）
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯のワイヤレスLAN機能と5 GHz帯のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11n（2.4 GHz）は、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

内蔵カメラ（MOTION EYE）についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i S400（i.LINK）コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から撮影することはできません。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- 高温時、低温時は、安全のために充電を停止することがあります。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの放電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリ駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリの性能低下と交換について

バッテリは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が低下していきます。このため、充分に充電を行ってもバッテリ駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、バッテリ寿命を確認し、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。

バッテリ寿命の確認方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [電源の管理／起動] – [バッテリの充電／表示の見かた]をクリックする。）

バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

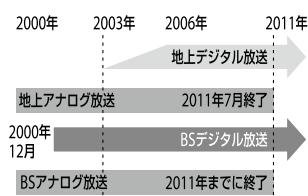
デジタル放送の著作権保護とB-CASカードについて（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が視聴できません。
- デジタル放送には、コピー制御信号が加えられています。放送局が定めた範囲でコピーできますが、著作権者等に無断で販売したりインターネットで公衆に送信したりすると、著作権侵害になります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について（テレビチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月*に、BSアナログ放送は2011年*までに終了することが、国の方針として決定されています。

* 2008年3月現在の情報です。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

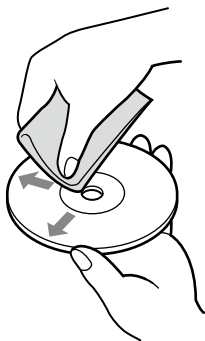
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**
データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する（98ページ）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	◎ *1 *2 *3
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *4
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *5
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *6 *7
DVD-RAM	◎ *8 *9
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　BD-R Ver.1.1（1層 25 Gバイト、2層 50 Gバイト）、BD-RE Ver.2.1（1層 25 Gバイト、2層 50 Gバイト）の書き込みに対応しています。

*2　BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

*3　BD-R LTH TYPE メディアへの記録には対応していません。

*4　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*5　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*6　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*7　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*8　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*9　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

DVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	○ *1
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *2
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *3
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *4 *5
DVD-RAM	◎ *6 *7
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。

*2　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*3　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*4　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*6　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*7　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
- CPRM対応のDVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMに、番組を直接録画することはできません。
  また、CPRM対応のDVD-Rへのムーブ（移動）には対応しておりません。（テレビチューナー搭載モデル）
- 録画したデジタル放送の番組はCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM ／ BD-RE（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）に移動（ムーブ）することができます。（テレビチューナー搭載モデル）
- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 再生するブルーレイディスクによっては、アナログRGB出力での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- HDMIコネクタでデジタル接続をする場合、接続するディスプレイがHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない場合は、著作権保護されたブルーレイディスクの映像を表示できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R DL ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R ／ REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- 録画したデジタル放送の番組を移動（ムーブ）したCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAMは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生することができます。ただし、DVD-RW（VRモード）再生対応のプレーヤーでも、CPRM対応のDVD-RWに移動（ムーブ）して記録したことのあるディスクは再生できないなどの制限があります。（テレビチューナー搭載モデル）

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクなどに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドを操作すると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。
- ACアダプタの取り付け／取りはずしを行わないでください。

索引

＊ 別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- 「テレビ王国」はソネットエンタテインメント株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- nimocaは、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン!」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard(TM)はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard(TM)ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association(PCMCIA)の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

バイオのサポート情報が満載

VAIOカスタマーリンクホームページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは126ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

ロクゼロ サンサンキュウキュウ
(0120) 60-3399
(フリーダイヤル)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、
海外などからのご利用は、
(0466) 30-3000(通話料お客様負担)

受付時間
平日:9時〜 18時
土曜、日曜、祝日:9時〜 17時
(365日年中無休)
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」(131ページ)が24時間ご利用いただけます。

お電話の前に本機の型名をご確認ください。
(保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。)
お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」(130ページ)をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
(0466) 38-1410

受付時間
平日:10時〜 18時
(祝日、年末年始は除く)

有料サービス

My VAIO(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/)では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ **VAIO延長保証サービス**

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ **VAIO設置設定サービス**

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート(初期設定/インターネット設置/無線LAN設定/データ移行など)を行うサービスです。

■ **VAIOソフトウェアセレクション(ソフトウェア・ダウンロード販売サイト)**

バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、限定のソフトウェアなどを多数取り揃えたソフトウェアのダウンロード販売サイトです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0120）60-3399

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-116-441-**01** (1)